

# 1 展示事業

## 1-1 所蔵品展示

### 水彩画 — 『みづゑ』とよばれた時代から 2023/4/1 [土] - 6/18 [日]

身近な描き方の一つである水彩画。日本では明治後期に水彩画ブームが興った。

日本画でも油絵でもない、透明水彩にしかできない繊細な表現を追求した作品から、不透明水彩による新たな描画の可能性を探った作品まで、日本人にとって身近な水彩画の魅力を紹介した。

#### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室 1a
- ・出品点数：60点
- ・観覧料：一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは12ページ



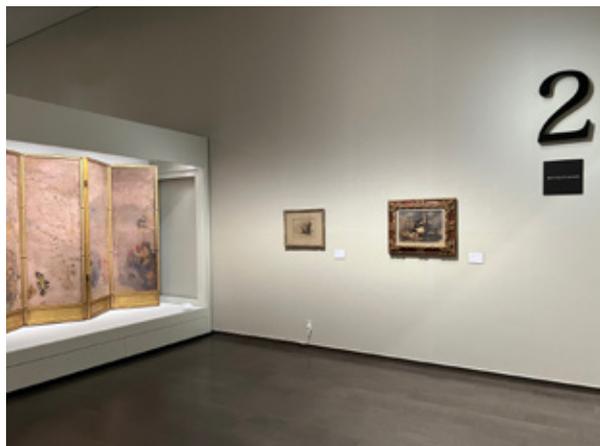
### ルドンコレクションから 2023/4/1 [土] - 6/18 [日]

岐阜県美術館では、開館以来19世紀末フランスの画家オディロン・ルドン(1840-1916)の作品を重点的に収集してきた。本展示では、250点を超えるルドンコレクションから、版画や素描を中心にルドンの「黒」を紹介した。

#### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室 1b
- ・出品点数：25点
- ・観覧料：一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは13ページ



## 清水九兵衛《CORRESPOND A》

2023/4/1 [土] - 9/10 [日]

清水九兵衛(1922-2006)は陶芸の名家に入った後、パブリックアートなど巨大彫刻でキャリアを重ね、2000年に陶芸家・清水六兵衛の名を後代に譲ってから複合的な素材を組み合わせたCORRESPONDシリーズを発表するようになった。ジャンル横断的な作家の晩年の到達点たる作品を展示した。

### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室1c
- ・出品点数: 1点
- ・観覧料: 一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは13ページ



## ぎふの日本画 水墨の彩り

2023/4/1 [土] - 7/2 [日]

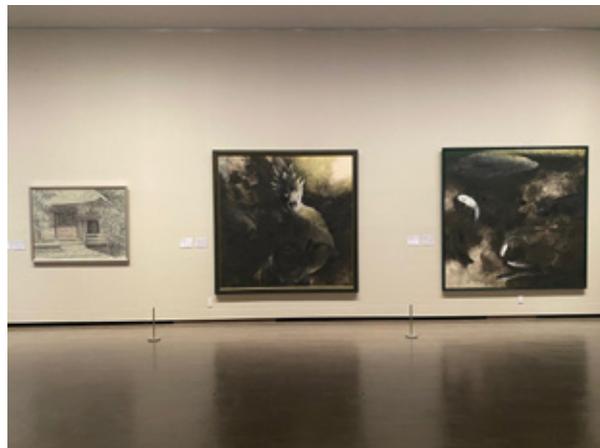
岐阜ゆかりの日本画家の系譜を辿るシリーズ「ぎふの日本画」。第4回目は岐阜県美術館が所蔵する日本画の中から、近世から現代の画家による水墨画の作品を展示。

墨には赤みや青み、黒の濃淡が異なる様々な色味があり、筆づかいや含ませる水分量で、かすれやにじみなどの豊かな表現が見られる。筆と墨から生まれる水墨の彩りを紹介した。

### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室1d
- ・出品点数: 28点
- ・観覧料: 一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは14ページ



## 新収蔵品お披露目展

2023/4/11 [火] - 6/18 [日]

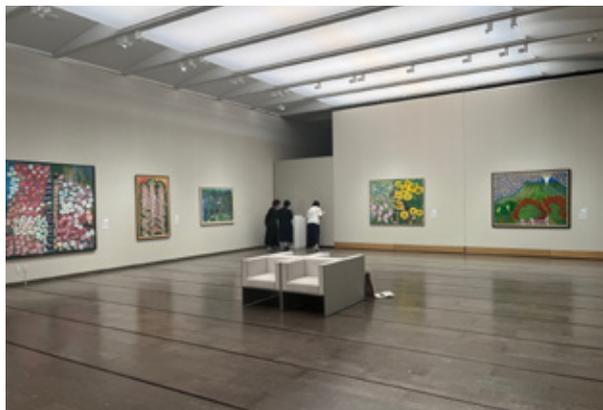
近年美術館に収蔵された作品から選りすぐって展示。初めて公開される、新たな美術館の顔というべき珠玉の作品群を紹介した。

新たな方向性を拓く収集となった塔本シスコ (1913-2015) と日本画の大家・土屋禮一 (1946-) の花の絵、松井章 (1924-1985) の最晩年の作品が競演し、洋画家の北蓮蔵 (1876-1949) の作品群や鯉江良二 (1938-2020) の文字の作品が並ぶなど、多彩なジャンルが一堂に会し、新たな視点で作品が見えてくることとなった。

### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室 2
- ・出品点数: 23点
- ・観覧料: 一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料  
( ) 内は 20人以上の団体割引料金

作品リストは15ページ



## さかのぼり岐阜洋画史 平成・昭和編

2023/6/27 [火] - 10/1 [日]

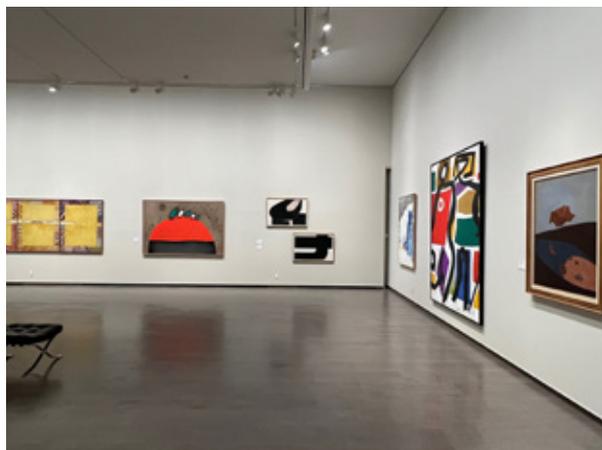
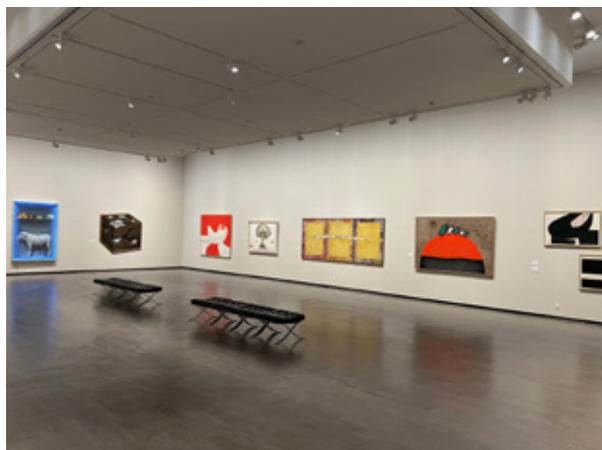
岐阜の絵画のルーツを「平成・昭和編」と「大正・明治編」の2回にわたり辿る1回目。

県美術館は開館して40年経ったが、それ以前はどこでどんな展覧会が開催されてきたのか。画家もまた誰から学び、影響を受けたのか、作品からその先の作品へと順にさかのぼり、岐阜ならではの特徴を探った。

### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室 1a、ホール
- ・出品点数: 19点
- ・観覧料: 一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料  
( ) 内は 20人以上の団体割引料金

作品リストは16ページ



## ルドンコレクションから： ルドンとフランス世紀末絵画

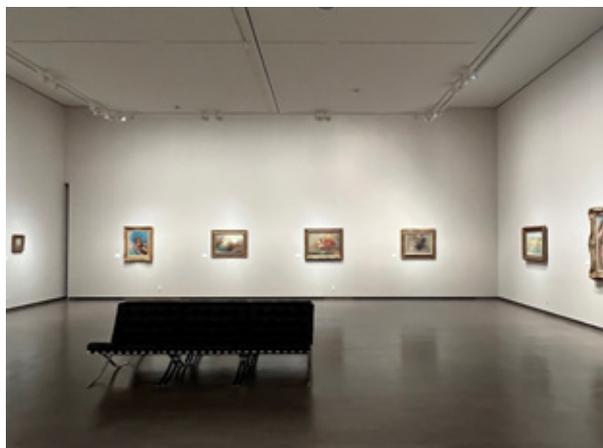
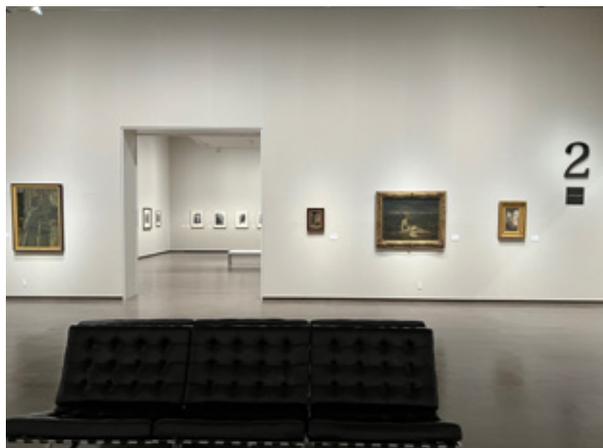
2023/6/27 [火] - 10/1 [日]

本展示では、250点を超えるルドンコレクションから油彩画とともに、同時代に花開いたフランスの画家たちによる作品を紹介した。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1b
- ・出品点数：15点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、  
高校生以下無料  
( ) 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは16ページ



## 没後20年 細江光洋展『飛驒を撮る』 — 記録と記憶、交差する眼

2023/7/1 [土] - 9/3 [日]

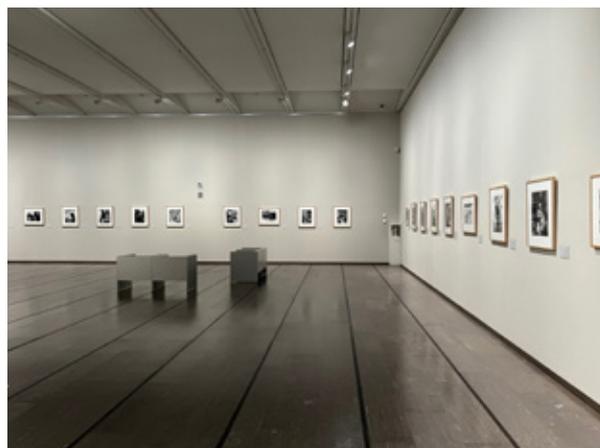
高山出身の写真家細江光洋(1920-2003)は、変わりゆく飛驒の人々のありのままの暮らしを生涯撮り続けた。本展示では、取材を通して養われた記録する眼が懐かしい風景を記憶する心の眼と重なり合い、日本のふるさと「飛驒高山」のイメージを作り上げた、代表作品を展示した。

また、白川郷の合掌造り集落を記録した貴重な写真をはじめ、野にある円空仏シリーズなどを併せて紹介した。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室2
- ・出品点数：86点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、  
高校生以下無料  
( ) 内は20人以上の団体割引料金
- ・主催：岐阜県美術館
- ・後援：白川村、高山市、飛驒市
- ・協力：細江スタジオ

作品リストは17ページ



## ルドンコレクションから：黒との会話

2023/9/20 [水] - 12/24 [日]

ルドンはその画業の前半は木炭画や版画による黒の作品を、後半はパステル画や油彩画による色彩作品を中心に制作した。本展示では、ルドンの作品とともに、ロドルフ・プレスダンやアンリ・ファンタン＝ラトゥールの作品を紹介した。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1c
- ・出品点数：42点
- ・観覧料：一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは20ページ



## 季節のうつろい 夏から秋へ

2023/7/11 [火] - 11/5 [日]

日本では、床の間や茶室の掛軸を掛け替え、花や置物を飾り、四季折々を楽しみながら来客をもてなす文化がある。本展では、日本画と工芸を組み合わせ、夏から秋への季節にふさわしい作品を紹介した。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1d
- ・出品点数：56点
- ・観覧料：一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは20ページ



## さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編

2023/10/11 [水] - 12/24 [日]

岐阜の絵画のルーツを「平成・昭和編」と「大正・明治編」の2回にわたり辿る2回目。

昭和から大正、明治へと時代をさかのぼるにつれ、岐阜の地を遠く離れて画家を志していった当時の人々の並々ならぬ気概に圧倒される展示となった。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1a
- ・出品点数：26点
- ・観覧料：一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは22ページ



## 林武史《石間》安藤基金コレクションから

2023/10/11 [水] - 12/24 [日]

東京藝術大学彫刻科教授として永年にわたり後進育成に務めるとともに、自身も国内外で発表を続けている岐阜出身の彫刻家・林武史(1956-)は、岐阜県加茂郡白川町にスタジオを構え、一貫して、素材の本性を見つめ、石と空間が交感を宿す作品を作り続けている。

本展では、退任記念として代表作のひとつである《石間》を展示。また、作品の上に「立つ/座る」体験会を開催した。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1b
- ・出品点数：2点
- ・観覧料：一般 340(280)円、大学生 220(160)円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは22ページ



## フォルムーやきものから

2023/11/14 [火] - 2024/3/3 [日]

戦後、日本では桃山復興をはじめ、新たな立体造形の道を模索する前衛陶芸など活発な陶芸運動がおこった。今なお作家たちは多種多様なやきものに挑戦し続けている。

本展示では自己表現として表現領域を拡張し続ける作家たち、その手から生み出されたフォルムを紹介した。

### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室1d
- ・出品点数: 33点
- ・観覧料: 一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは23ページ



## フランスに渡った日本人画家

2024/1/5 [金] - 3/31 [日]

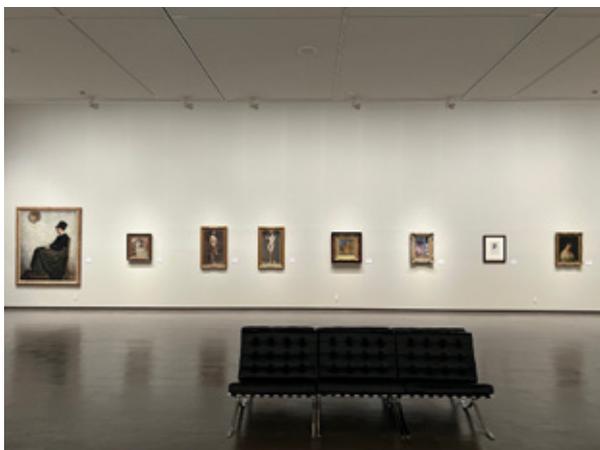
フランスにわたり、異国の文化や風土に接するなかで、日本人としてのアイデンティティを持ち、新たな表現を見出そうとした画家たちを紹介した。

岐阜県ゆかりの画家山本芳翠(1850-1906)、北蓮蔵(1876-1949)、田淵安一(1921-2009)、坂倉新平(1934-2004)、そして現代の作家までを岐阜県美術館の収蔵品を中心に展示。

### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室1a,b
- ・出品点数: 42点
- ・観覧料: 一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは24ページ



## ルドンコレクションから： 聖アントワナの誘惑

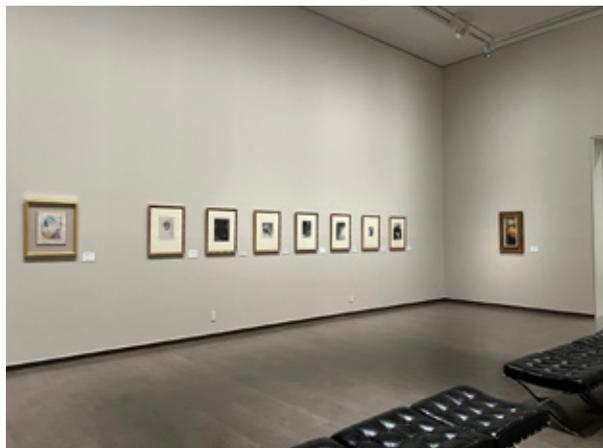
2024/1/5 [金] - 4/7 [日]

本展示では、ギュスターヴ・フロベールによる小説『聖アントワナの誘惑』（1874年）に着想を得てルドンが制作した大作の版画集『聖アントワナの誘惑』を中心に展示した。物語が持つイメージを超えた、ルドンの独創性と幻想性あふれる世界を紹介した。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1c
- ・出品点数：48点
- ・観覧料：一般 340(280)円、大学生 220(160)円、  
高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは25ページ



## ぎふの日本画 おいしかったよ すばらしい鮎だ 書簡にみる画家と岐阜の人々の交流

2024/3/12 [火] - 6/16 [日]

岐阜ゆかりの日本画家の系譜を辿るシリーズ「ぎふの日本画」の第5回目。

岐阜で育った川合玉堂（1873-1957）や中津川出身の前田青邨（1885-1977）は、郷里の画廊や親類から関東の住まいに贈られてくる郷土の味覚を楽しみ、特に鮎や柿の味を絶賛し、絵入りの礼状を送っている。

本展では、このような画家の手紙や、玉堂が自詠の和歌を揮毫した新収蔵の《四季和歌色紙屏風》などを通して、画家と岐阜の人々の交遊を紹介。画家たちの人間らしい一面を通し、作家や作品に出合いなおす契機とした。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1d
- ・出品点数：55点
- ・観覧料：一般 340(280)円、大学生 220(160)円、  
高校生以下無料  
( )内は20人以上の団体割引料金

作品リストは25ページ



## 水彩画 — 『みづゑ』とよばれた時代から

2023年4月1日(土)から6月18日(日)まで  
□印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	技法・素材
アルフレッド・イースト	□ クールマイヨール風景	1895-1905頃	水彩、紙
山本芳翠	ヴェルサイユにて 田舎家	1880頃 不詳	水彩、紙 水彩、紙
浅井忠	婦人像	不詳	水彩、紙
明治美術会通常会員	『小宴紀念』	1895	画帖
石井重賢(鼎湖)	農婦	1895	水彩、紙
石田益敏	風景	1895	水彩、紙
印藤真楯	虚鐸之秘曲	1895	水彩、紙
波々伯部捨四郎	伯爵伊藤博文君肖像	不詳	石版、紙
原田直次郎	風景	1895	水彩、紙
本多錦吉郎	野路のむら雨	1895	水彩、紙
東城鉦太郎	軍人のいる風景	1895	水彩、紙
渡辺文三郎	松島秋月	1895	水彩、紙
渡部敏太郎(金秋)	清盛之栄花(清盛の栄華)	1895	水彩、紙
渡部審也	鹿のいる風景	1895	水彩、紙
河久保正名	海辺風景	1895	水彩、紙
亀井至一	少女	1895	水彩、紙
高橋勝蔵	米国カルフォルニア州タマルパエス山真景	1888	水彩、紙
高橋(柳)源吉	山地師団長飲料水ヲ搜索ス	1895	水彩、紙
中沢弘光	川の漁	1895頃	水彩、紙
能勢鶴次郎	静物	1895	水彩、紙
岡田三郎助	積糞	1895	水彩、ペン、紙
久米桂一郎	猿橋首夏	1895	水彩、紙
山本芳翠	金州(錦州)	1895	淡彩、絹
松井昇	晩春	1895	水彩、紙
小山正太郎	野津中将青石関ヲ過ク	1894	水彩、ペン、紙
小柴英侍	東照宮の景	不詳	石版、紙
合田清	威海衛ノ進撃(黒田清輝原画)	1895	木版、紙
浅井忠	王師入遼東	1895	水彩、ペン、紙
齋藤知三	萬歳寿康(吉備津社真景)	1895	水彩、紙
佐野昭	彫刻写真(可善真手命像)	不詳	写真、紙
菊池鑄太郎	彫刻写真	不詳	写真、紙
三宅克己	蓋平城東門図	1895	水彩、紙
小代為重	静物	1895	水彩、紙
矢野倫真	静物	不詳	水彩、紙
	風景	1905	水彩、紙
	風景	1905	水彩、紙
	風景	不詳	水彩、紙

作家名	作品名	制作年	技法・素材
矢野倫真	風景	1902	水彩、紙
	大縄場	1902	水彩、紙
	校庭の秋	不詳	水彩、紙
	八梅の森	不詳	水彩、紙
	画帖		鉛筆、水彩、紙
牧野伊三郎	素描	不詳	鉛筆、水彩、紙
	素描	不詳	鉛筆、紙
	拝島亀屋宿	1892	鉛筆、紙
	素描	不詳	鉛筆、水彩、紙
早川国彦	神戸風景	1926	水彩、紙
	豊島園	1932-33	水彩、紙
	夏苑の少女	1939	水彩、紙
	戸隠の放牧	1939	水彩、紙
	樹間の放牧	1943	水彩、紙
坂井範一	色と形	1966頃	水彩、紙
矢橋六郎	メヂチ家(フローレンス)	1977	水彩、紙
	ベニス、サンサルデーテの夕	1980	水彩、紙
	ベニスの朝(サン・ジョルジオ)	1980	水彩、紙

## ルドンコレクションから

2023年4月1日(土) から6月18日(日) まで

□印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	技法・素材
オディロン・ルドン	□ 漁船	1859	水彩、紙
	風景	不詳	ペン、インク、紙
	樹(樹のある風景の中の二人の人物)	1865頃	木炭、紙
	森の中の男	1865	木炭、紙
	永遠を前にした男	1870頃	黒鉛、紙
	スケッチ	1880頃	エッチング、紙
	ハムレット	1885	黒鉛、紙
	守護天使	不詳	鉛筆、紙
	ハムレットについての思い	不詳	鉛筆、水彩、紙
	ペイルレバードのポブラ	不詳	油彩、紙
	滞船	1880頃	油彩、厚紙
	山上の垂訓または預言者	不詳	木炭、紙
	シバの女王	不詳	木炭、紙
	女の横顔	1885頃	木炭、紙
	窓辺の女	不詳	木炭、紙
	花の粹組みの中の左向きの横顔	不詳	木炭、紙
	月桂冠をかぶった女の横顔	不詳	木炭、紙
	女の像	不詳	ペン、墨、紙
	崩壊	1889	リトグラフ、紙
	黒いたいまつ	1890	リトグラフ、紙
	聖女とあざみ	1891	リトグラフ、紙
	ある魂の移行	1891	エッチング、紙
	年老いた騎士	1896	リトグラフ、紙
	オリヴィエ・サンセールの屏風	1903	デトランプ、油彩、画布
	女漁師	不詳	バステル、紙

## 清水九兵衛 《CORRESPOND A》

2023年4月1日(土) から9月10日(日) まで

作家名	作品名	制作年	技法・素材
清水九兵衛	CORRESPOND A	2002	木、和紙、アルミニウム

## ぎふの日本画 水墨の彩り

2023年4月1日(土) から7月2日(日) まで  
○印は5月14日(日) まで、●印は5月16日(火) から

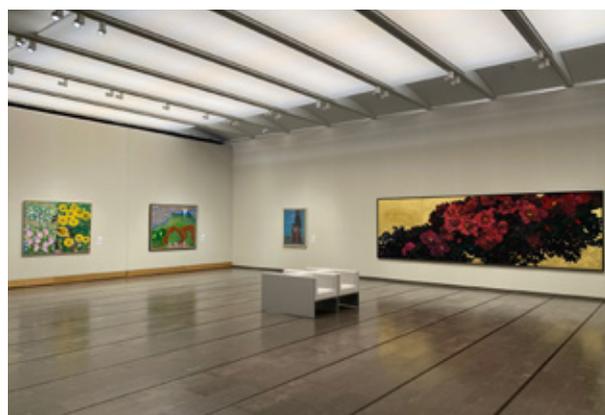
作家名	作品名	制作年	技法・素材
狩野典信	● 獅子図	不詳	絹本墨画
狩野米信	○ 松樹棲鶴・南極寿星・竹間遊鶴 ○ 躡壽老	不詳 不詳	絹本墨画 紙本墨画
狩野永岳	● 盧生・邯鄲の夢	不詳	紙本墨画
垣内右隣	● 山水	不詳	絹本墨画
安田老山	● 雪景山水之図	1878	紙本墨画
垣内雲嶺	○ 山水 ● 水墨山水	不詳 不詳	紙本墨画 紙本墨画
川合玉堂	● 晩帰 ○ 破墨山水 ● 湖畔雨後	1899頃 1916 昭和初期	絹本着色 紙本墨画 紙本墨画
前田青邨	● 水墨襖絵 ○ 観音	明治末期 1915頃	紙本墨画 紙本墨画
川崎小虎	● 游(あひるの子 五匹) ○ 仔犬 ○ 蕪に鶯 ○ 野兔 ● 金華山	1955 1963頃 1965頃 1965頃 1970頃	紙本墨画淡彩 紙本墨画淡彩 紙本墨画 紙本墨画淡彩 紙本墨画
加藤東一	○ 臥龍梅	1996	紙本墨画・金彩色
平川敏夫	● 鳴戸潮聲 ○ 奥飛騨暮雪	1990 1997	紙本墨画 紙本墨画
川崎鈴彦	○ 香落溪 ● 古い寺(室生)	1994 1994	紙本着色 紙本着色
土屋 禮一	○ 龍魚一阿 ○ 龍魚一呷 ● 宮毘羅 ● 淵	2012 2012 2012 2013	紙本着色 紙本着色 紙本着色 紙本着色
服部しほり	○ 展墓記	2017	紙本着色



## 新収蔵品お披露目展

2023年4月11日(火) から6月18日(日) まで  
\*印は寄託作品、△印は中間展示替あり

作家名	作品名	制作年	技法・素材
岡田三郎助	風景	1892	油彩、板
鹿子木孟郎	賀茂川	不詳	油彩、板
渡部審也	船着場	1915	油彩、画布
北蓮蔵	瀧	不詳	油彩、板
	橋に水仙	不詳	油彩、板
	静物	不詳	油彩、板
	富士春景	不詳	油彩、画布
津田青楓	京洛春日	1927	油彩、板
山下新太郎	クレール・ロジェの像	1908	油彩、画布
木村荘八	静物	1919頃	油彩、画布
山田喆	天目釉壺「霞雨霜雪」	1947	陶器、天目釉
	瑠璃釉「櫻」飾皿	不詳	陶器、瑠璃釉
	伊羅保釉花の字額皿	不詳	陶器、伊羅保釉
塔本シスコ	桜島	1970-88	油彩、画布
	ひまわりの中でインコ	1987	油彩、画布
	タチアオイ(朝日)	1991	油彩、画布
	* 枚方総合体育館前のコスモス畑	1996	油彩、段ボール紙
	アジサイのなかで遊びなさい	1997	油彩、画布
* 鳥の女神	2000	アクリル、陶	
松井章	望郷	不詳	紙本着色
鯉江良二	△ 雨	1993	墨、紙
土屋 禮一	牡丹図	1980	紙本着色
横山奈美	△ forever	2022	木炭、鉛筆、紙



## さかのぼり岐阜洋画史 平成・昭和編

2023年6月27日(火) から10月1日(日) まで  
□印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	技法・素材
熊谷守一	ヤキバノカエリ	1956	油彩、画布
鈴木誠	カナリヤと子供	1955	油彩、画布
坂井範一	洲の暁	1941	油彩、画布
水谷清	中国童子	1949	油彩、画布
坪内節太郎	踊る	1949	油彩、画布
矢橋六郎	発掘	1937	油彩、画布
村井正誠	地中海	1980	油彩、画布
守洞春	「第1回岐阜県美術展ポスター」(原画)	1946	木版、紙
徳永富士子	自画像	1949	油彩、画布
石川勇	無題	不詳	油彩、画布
河合祐司	メモランダム'95 無題	1995	油彩、アクリル、画布
坂倉新平	内なる光—地中海の朝	1992	油彩、画布
加藤正嘉	作品 作品	2012 2012	カーボン、紙 カーボン、紙
吉本作次	三人の聖人と三本の木	2010	油彩、テンペラ、水彩、画布
傍島幹司	赤と白の時間	2003	油彩、画布
奥村晃史	地上の食卓 □ ストレージ・シープ	2009 2009	油彩、画布 油彩、画布、LED

## ルドンコレクションから：ルドンとフランス世紀末絵画

2023年6月27日(火) から10月1日(日) まで  
\*印は寄託作品

作家名	作品名	制作年	技法・素材
ギュスターヴ・モロー	ピエタ 聖セバスティアヌスと天使	1854 1876頃	油彩、画布 油彩、板
カミーユ・ピサロ	牛の番をする農婦、モンフォー	1875	油彩、画布
オディロン・ルドン	風景 ペイルルバードのポプラ 眼をとして オルフェウスの死 アポロンの戦車 花	不詳 不詳 1900以降 1905-10頃 1906-07頃 1905-10頃	油彩、紙 油彩、紙 油彩、画布 油彩、画布 油彩、画布 油彩、画布
ピエール=オーギュスト・ルノワール	泉	1910頃	油彩、画布
アリスティド・マイヨール	山羊飼いの娘	1890頃	油彩、画布
ジョルジュ・デヴァリエール	* アフロディテ ミサを捧げる司祭	1899 1903-05頃	油彩、板 油彩、画布
ポール・セリュジエ	森の中の焚火	1889-90頃	油彩、画布
モーリス・ドニ	なでしこを持つ若い女	1896	油彩、画布

# 没後20年細江光洋展『飛驒を撮る』—記録と記憶、交差する眼

2023年7月1日(土) から9月3日(日) まで

No.	作家名	作品名	撮影年	素材・技法	所蔵先
<b>プロローグ</b>					
1	細江光洋	関連資料			個人蔵
<b>1. 世界遺産 白川郷</b>					
2	細江光洋	あいさつ	1957(昭和32)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
3	細江光洋	笑顔	1957(昭和32)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
4	細江光洋	戸数八戸の集落	1952(昭和27)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
5	細江光洋	牛を引く少年	1951(昭和26)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
6	細江光洋	雪の日	1958(昭和33)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
7	細江光洋	合掌梁	1960(昭和35)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
8	細江光洋	老婆	1951(昭和26)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
9	細江光洋	無題	1951(昭和26)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
10	細江光洋	離村集落の狛犬		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
<b>2. 飛驒に生きる</b>					
11	細江光洋	初雪	1960(昭和35)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
12	細江光洋	雪下ろし	1962-65(昭和37-40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
13	細江光洋	大雪の朝	1962-65(昭和37-40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
14	細江光洋	わら細工	1965(昭和40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
15	細江光洋	孫の守	1959-65(昭和34-40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
16	細江光洋	手櫓	1960-61(昭和35-36)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
17	細江光洋	身支度	1951-1963(昭和26-38)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
18	細江光洋	山菜採り		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
19	細江光洋	親子		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
20	細江光洋	山畑から帰る	1951(昭和26)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
21	細江光洋	荷を運ぶ	1957(昭和32)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
22	細江光洋	薪を運ぶ子供	1949(昭和24)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
23	細江光洋	卵売り		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
24	細江光洋	雪道		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
25	細江光洋	瀬戸川	1961(昭和36)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
<b>3. 生業</b>					
26	細江光洋	染め物	1962(昭和37)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
27	細江光洋	しょう油蔵		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
28	細江光洋	駄菓子屋(とらまき)		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
29	細江光洋	仕上げ		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
30	細江光洋	提灯屋		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
31	細江光洋	桶屋		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
32	細江光洋	わらうち	1965(昭和40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
33	細江光洋	和ろうそく	1962(昭和37)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
34	細江光洋	まゆ取り	1957(昭和32)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館

1 展示事業

2 教育普及活動

3 県民関連

4 所蔵作品と図書

5 組織と関連法規

6 沿革と施設

7 利用案内

No.	作家名	作品名	撮影年	素材・技法	所蔵先
35	細江 光洋	豆蒸し	1958(昭和33)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
36	細江 光洋	紙すき	1962-65(昭和37-40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
<b>4. 飛驒の円空</b>					
37	細江 光洋	残光	1988(昭和63)年頃	発色現像方式印画	岐阜県美術館
38	細江 光洋	静日 <small>しずかなひ</small>	1998(平成10)年頃	発色現像方式印画	岐阜県美術館
39	細江 光洋	神像 勢至菩薩像	1998(平成10)年頃	発色現像方式印画	岐阜県美術館
40	細江 光洋	静日	1996(平成8)年頃	発色現像方式印画	岐阜県美術館
41	細江 光洋	善女竜王像	1988(昭和63)年頃	発色現像方式印画	岐阜県美術館
<b>5. 移りゆく山里の暮らし</b>					
42	細江 光洋	牛のいる風景		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
43	細江 光洋	日下部家		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
44	細江 光洋	吉島家		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
45	細江 光洋	吉島家の虫干し		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
46	細江 光洋	無題	1959(昭和34)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
47	細江 光洋	無題(馬の運動)	1955(昭和30)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
48	細江 光洋	無題(荷車引き(馬))		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
49	細江 光洋	水屋	1960(昭和35)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
50	細江 光洋	わくを転がして筋付け	1950(昭和25)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
51	細江 光洋	菜洗い風景	1960(昭和35)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
52	細江 光洋	子守		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
53	細江 光洋	スキー		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
54	細江 光洋	鶏小屋	1957(昭和32)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
55	細江 光洋	かまくら	1965(昭和40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
56	細江 光洋	「火の用心」夜廻り	1965(昭和40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
57	細江 光洋	雪と戯れる	1965(昭和40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
58	細江 光洋	雪遊び		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
59	細江 光洋	年頭配り	1957(昭和32)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
60	細江 光洋	晴れ着	1962(昭和37)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
61	細江 光洋	村の洋品店	1950(昭和25)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
62	細江 光洋	牛小屋の前で	1952(昭和27)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
63	細江 光洋	村の分教所	1952(昭和27)年	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
64	細江 光洋	囲炉裏	1951-52(昭和26-27)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
65	細江 光洋	写真帳「白川」から 冬の生活		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
66	細江 光洋	写真帳「白川」から 人びと		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
67	細江 光洋	写真帳「白川」から まぼろしの集落		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
68	細江 光洋	写真帳「白川」から 合掌の取り壊し		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
69	細江 光洋	作品名不詳	1962(昭和37)年	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
70	細江 光洋	作品名不詳	昭和30年代	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館

No.	作家名	作品名	撮影年	素材・技法	所蔵先
<b>6. 信仰—祭りの日</b>					
71	細江 光洋	行列を待つ		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
72	細江 光洋	神代踊り	1961(昭和36)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
73	細江 光洋	どぶろく振る舞い	1960(昭和35)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
74	細江 光洋	無題(どぶろくをふるまう)		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
75	細江 光洋	鶏芸	1963(昭和38)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
76	細江 光洋	水無神社の新年		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
77	細江 光洋	獅子舞	1962(昭和37)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
78	細江 光洋	起し太鼓	1965(昭和40)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
79	細江 光洋	点灯	1960(昭和35)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
80	細江 光洋	門徒たち	1960(昭和35)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
81	細江 光洋	法悦	1962(昭和37)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
82	細江 光洋	田の神	1958(昭和33)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
<b>エピソード</b>					
83	細江 光洋	白い手袋	1959(昭和34)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
84	細江 光洋	襟巻き	1960(昭和35)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
85	細江 光洋	作品名不詳		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館
86	細江 光洋	作品名不詳		ゼラチン・シルバー・プリント	岐阜県美術館



## ルドンコレクションから：黒との会話

2023年9月20日(水) から12月24日(日) まで  
○印は10月29日(日) まで、●印は10月31日(火) から展示  
△印は中間展示替有

作家名	作品名	制作年	技法・素材
ロドルフ・プレスダン	○ 死の喜劇	1854	リトグラフ、紙
	● 死の喜劇	1854	リトグラフ、紙
	○ 善きサマリア人	1861	リトグラフ、紙
	● 善きサマリア人	1861	リトグラフ、紙
	○ 水辺の二人の浴女	1861	リトグラフ、紙
	○ パラソル市場	1866	リトグラフ、紙
	● 水車	1866	リトグラフ、紙
	○ 溪流	1884	リトグラフ、紙
	● 遠くの町	1868(摺刷1873)	リトグラフ、紙
	● 木陰のせせらぎ	1880	エッチング、紙
アンリ・ファンタン＝ラトゥール	△ 「大画帳(真理)」より	1884-1885	リトグラフ、紙
オディロン・ルドン	海浜の岩	不詳	油彩、画布
	○ ダブル・プロフィール	不詳	ペン、木炭、紙
	● 石版画集『夢のなかで』VIII. 幻視	1879	リトグラフ、紙
	○ 石版画集『夜』	1886	リトグラフ、紙
オディロン・ルドン	● 石版画集『陪審員』	1887	リトグラフ、紙
	○ 浅瀬(小さな騎馬兵のいる)	1865-66	エッチング、ドライポイント、紙
	○ サン＝ジャン＝ピエ＝ド＝ポール	1866	エッチング、紙
	● 二人の小さな騎馬兵	1865	エッチング、ドライポイント、紙
	● 雷雲の下の騎馬兵	1866	エッチング、紙
	○ 読書する人	1892	リトグラフ、紙
	● 王女マレーヌ(小さな聖母)	1892	エッチング、ドライポイント、紙
	● 偶像	1887	リトグラフ、紙
	○ 浴女	1904	エッチング、ドライポイント、紙

## 季節のうつろい 夏から秋へ

2023年7月11日(火) から11月5日(日) まで  
○印は9月3日(日) まで、●印は9月5日(火) から、◎印は10月9日(月・祝) まで

作家名	作品名	制作年	技法・素材
垣内雲嶺	○ 富士	不詳	紙本墨画
川合玉堂	● 月	1899頃	紙本墨画
	○ 破墨山水	1913頃	紙本墨画
川合玉堂 絵 福田旭水 器	● 金華山焼 銘鶴舟	1921-1923頃	灰釉、鉄釉、赤絵、陶器
徳田隣斎	● 中宵	1920	絹本着色
	○ 漁村晩夏	不詳	絹本墨画
	● 四季草花	不詳	紙本金地着色
玉舎春輝	○ 磯辺	1933	紙本着色
前田青邨	○ 烟雲古塔	1924	絹本墨画
	○ 無花果	不詳	紙本着色
	○ 茄子	不詳	紙本墨画淡彩
川崎小虎	● そよぶく風	1937	紙本着色
	○ 七面鳥とひまわり	1938	紙本着色
	○ 雨後の砂浜	1941	紙本着色
	● 草の実(秋の野芥子)	1955頃	紙本着色
	● 麦と野鼠	1967	紙本着色
	○ 晝顔	1970頃	紙本墨画淡彩
	○ 初秋	1972-73	紙本墨画
	● 山の秋 ぶどう	1973	紙本墨画
	○ 麻布にざくろ	1975	紙本着色
佐々木尚文	● 稚児文殊・江口普賢	昭和初期	絹本着色
	○ 緑竹・白鳳・桐花	昭和初期	絹本着色
岩田藤七	● 花器	1960	宙吹き、色ガラス
	○ 水指	1973	宙吹き、色ガラス
	○ 貝	1976	宙吹き、色ガラス

作家名	作品名	制作年	技法・素材
荒川豊蔵	唐津風茶碗 銘山ノ端	1953	灰釉、陶器
	● 瀬戸黒金彩木葉文茶碗	1971	瀬戸黒、陶器
	● 黄瀬戸花生 銘露塵	1974	黄瀬戸、陶器
川瀬竹翁	● 青地スカシ花鳥金襴手盛蓋瓶	1970	金襴手、陶器
各務鑑三	○ 瓜文皿	1937-38	グラヴェール、被せガラス
	○ 棗	1971	型吹き、カット、クリスタルガラス
	○ 哲文花器	1972	宙吹き、グラヴェール、クリスタルガラス
	● 水指	1976	宙吹き、気泡封入、クリスタルガラス
○ 瓢形花器	1983	宙吹き、カット、クリスタルガラス	
坂井範一	● 雪竹	1959頃	紙、墨、グアッシュ
小山富士夫	種子島茶碗 銘柴垣	1974	焼締、陶器
	斑唐津水指	1964年頃	唐津、陶器
長谷川朝風	● 収穫	1945	紙本着色
加藤栄三	○ 朝顔	不詳	紙本着色
塚本快示	◎ 白瓷鳥刻文大皿	1978	白磁、磁器
	○ 青白磁輪花碗	1981	青白磁、磁器
宗廣力三	● 藍地麦文様絁着物	1982	絁、紬、絹
	● 藍地縞に丸文様絁着物	1985	絁、紬、絹
加藤東一	○ 鮎(素描)	1973	紙、パステル、色鉛筆、水彩
	○ 金華山(素描)	1973	紙、パステル
	● 冠峰楼(素描)	1973	紙、パステル
加藤卓男	◎ 三彩花器 銘爽容	1990	三彩、陶器
大橋桃之輔	○ 油滴花器	1981	油滴、陶器
鈴木藏	◎ 志野花器	1985	志野、陶器
加藤孝造	◎ 志野陶管	1980	志野、陶器
	◎ 瀬戸黒茶碗	2017	瀬戸黒、陶器
豊場惺也	○ 粉吹茶碗	2004-05	粉吹、陶器
土屋順紀	○ 紋紗着物「水の面」	2001	紗、絁、絹
	○ 紋紗着尺「夏菊」	2003	紗、絁、絹
若尾経	象牙瓷合子	2014	象牙瓷、陶器
田辺竹雲斎(小竹)	つながりー現在心・過去心・未来心	2013	黒竹、真竹



## さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編

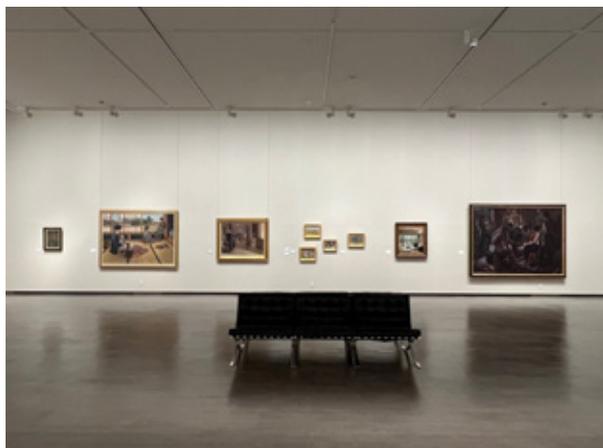
2023年10月11日(水) から12月24日(日) まで  
\*印は寄託作品

作家名	作品名	制作年	技法・素材
山本芳翠	若い娘の肖像	1880頃	油彩、画布
	* 琉球令正婦人肖像	1887-92頃	油彩、画布
	* 婦人像	不詳	油彩、画布
	海岸風景	1906頃	油彩、板
長原孝太郎	京都	1903	油彩、板
	辛夷	1914	油彩、板
	白壁の家	1918頃	油彩、板
	信州風景	1918	油彩、板
牧野伊三郎	嘉七像	1892	油彩、画布
	にわとり	1893頃	油彩、画布
	嘉平治像	1894	油彩、画布
	* 鎧の袖	1892頃	油彩、画布
窪田喜作	農家	1900頃	油彩、画布
	家族	1902	油彩、画布
渡部審也	船着場	1915	油彩、画布
北蓮蔵	午の憩	1916	油彩、画布
	岩倉邸行幸(習作)	不詳	油彩、画布
熊谷守一	婦人半身像	1905	油彩、画布
	蠟燭	1909	油彩、画布
	母の像	1910頃	油彩、画布
	赤城の雪	1916	油彩、画布
宮地志行	マントの少女	1914	油彩、画布
	滝	1919	油彩、画布
鈴木誠	習作	1921	油彩、画布
伊藤敏博	静物	1921	油彩、画布
坂井範一	憩へる女	1926	油彩、画布

## 林武史《石間》安藤基金コレクションから

2023年10月11日(水) から12月24日(日) まで

作家名	作品名	制作年	技法・素材
林武史	石間	2011	白大理石
	紅の庭	2011	リトグラフ、美濃和紙



# フォルムー やきものから

2023年11月14日(火) から2024年3月3日(日) まで  
 ○印は1月28日(日)まで、●印は1月30日(火)から展示  
 □印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	技法・素材
荒木高子	黒いページのある聖書	1986	陶土、磁土
山田光	消えゆく1	1978	白化粧、陶
	□ 陶板 磁器と木	1979	磁土、木
	点の集合	1979-80	磁土、木
	点の集合	1980	黒陶、木
	黒陶 窓	1981	黒陶、鉄
	黒陶 交互に開く窓	1981	黒陶、鉄
	黒陶 陶壁	1990	黒陶
	銀泥スクリーン	1993	陶、銀泥
	□ 銀泥 矩形と折れたパイプ	1996	陶、銀泥
	銀泥 横に延びるパイプ	1998	陶、銀泥
	銀泥 分割された円とパイプ	1999	陶、銀泥
	白い道	2001	陶、銀泥、白化粧
矩形の空間とパイプの立像	2001	陶、銀泥	
鈴木藏	○ 志野花器	1985	志野、陶器
伊藤慶二	王の剣	1982	陶、鉄
	HIROSHIMA「地」	1994	陶
	面	2009	陶
	面	2010	陶
	面	2010	陶
鯉江良二	土に還る	1971	シェルベン
	証言ーPRESENT	1985	シェルベン、ガラス瓶、金属
	証言ーコンパクト・オーシャン	1985	シェルベン、注射器、木の葉
金子潤	無題	1978	陶器
	無題	1978	陶器
	無題	1978	陶器
	無題(#105)	1985	陶器
天野裕夫	重厚円大蛙	1996	テラコッタ
酒井博司	● 藍志野壺	2012	藍志野、陶器
伊村俊見	□ 延07-8	2007	黒陶
	□ 囊17-1	2017	黒陶
林茂樹	Koz-o	2008	磁土



1 展示事業

2 教育普及活動

3 県民関連

4 所蔵作品と図書

5 組織と関連法規

6 沿革と施設

7 利用案内

## フランスに渡った日本人画家

2024年1月5日(金) から3月31日(日) まで  
 ○印は2月18日(日) まで、●印は2月20日(火) から展示  
 ＊印は寄託作品、□印は個人蔵

作家名	作品名	制作年	技法・素材
<b>【展示室1a】</b>			
オディロン・ルドン	○ アリ	1898	リトグラフ、紙
	● ピエール・ボナール	1902	リトグラフ、紙
山本芳翠	若い娘の肖像	1880頃	油彩、画布
中村不折	裸婦立像	1903	油彩、画布
	男子立像	1903	油彩、画布
藤島武二	浴室の女	1906-07頃	油彩、画布
	ローマの古城趾	1908-09頃	油彩、画布
北蓮蔵	コンセルジュ	1929	油彩、画布
山下新太郎	クレール・ロジェの像	1908	油彩、画布
マリー・ローランサン	三人の踊り子たち	1937-38	油彩、画布
モーリス・ド・ヴラマンク	ブレゾル(嵐の風景/冬の街)	1937	油彩、画布
藤田嗣治	十字架の見える風景	1920頃	油彩、画布
	夢	1925	油彩、画布
	猫	1949	油彩、画布
	子供の連作から	1956	油彩、パネル
	子供の連作から	1956	油彩、ボード
	子供の連作から 画廊	1957頃	油彩、ボード
	子供の連作から トイレ番	1957頃	油彩、ボード
	子供の連作から 荒物屋	1959	油彩、ボード
子供の連作から 案内人	1959	油彩、ボード	
小寺健吉	レザンドリー風景	1966	油彩、画布
鬼頭鍋三郎	旅舎にて 巴里ホテルアカデミー ノートルダム(巴里)	1954	油彩、画布
		1954頃	油彩、画布
長谷川潔	本の上の小鳥	1967	マニエル・ノワール、紙
荻須高德	モンマルトルの食料品店	1956頃	油彩、画布
矢橋六郎	発掘	1937	油彩、画布
村井正誠	人	1963	油彩、画布
田中阿喜良	少女と犬	1976	油彩、画布
<b>【展示室1b】</b>			
オディロン・ルドン	○ ベアトリーチェ	1897	リトグラフ、紙
ピエール・スーラージュ	エッチングXXII	1973	エッチング、紙
菅井汲	無題	1963	エッチング、紙
	フェスティバル	1971	アクリル、画布
田淵安一	季節の航跡	1984	油彩、画布
サム・フランシス	ファースト・ストーン	1960	リトグラフ、紙
ピエール・アレシンスキー	短絡	1988	エッチング、紙
坂倉新平	無題	1979頃	油彩、画布
	無題		油彩、画布
傍島幹司	Sweet Woods II	2016	油彩、画布
	Sweet Woods III	2016	油彩、画布
	Sweet Woods IV	2018	油彩、画布
赤塚一三	* 山懐の蝶	2023	油彩、画布
	□ 山懐の光	2023	油彩、画布

# ルドンコレクションから：聖アントワーヌの誘惑

2024年1月5日(金) から4月7日(日) まで  
○印は2月18日(日) まで、●印は2月20日(火) から展示

作家名	作品名	制作年	技法・素材
オディロン・ルドン	○ 『聖アントワーヌの誘惑』 第一集	1888	リトグラフ、紙
	○ 『ギュスターヴ・フロベールに』 (『聖アントワーヌの誘惑』 第二集)	1889	リトグラフ、紙
	● 『聖アントワーヌの誘惑』 第三集	1896	リトグラフ、紙
	○ とらわれのペガサス	1889	リトグラフ、紙
	○ 憑きもの	1894	リトグラフ、紙
	○ 耳の細胞	1894	リトグラフ、紙
	○ 仏陀	1895	リトグラフ、紙
	● シュラムの女	1897	リトグラフ、紙
	眼をとじて	1900以降	油彩、画布
	ファエトンの墜落	1905-06頃	油彩、板

# ぎふの日本画 おいしかったよ すばらしい鮎だ 書簡に見る画家と岐阜の人々の交流

2024年3月12日(火) から6月16日(日) まで  
○印は5月6日(月・振) まで、●印は5月8日(水) から展示  
\*印は寄託、□印は個人蔵

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法・素材		
川合玉堂	1873-1957	人物花鳥図	1894	紙本着色		
		● 鍾馗図	1902	紙本墨画		
		● 鶺鴒図	1902	絹本着色		
		● 養老図	1902	絹本着色		
		○ 山村積雪図	1909頃	絹本墨画淡彩		
		● 駒ヶ嶽	1914	絹本着色		
		○ 竹雀	1919頃	紙本墨画		
		● 猿猴	昭和初期	紙本墨画		
		● 紅梅鶴	昭和初期	紙本着色		
		○ 藤	1929	紙本淡彩		
		○ 深林宿雪	1936	絹本着色		
		□ 飛躍	1940	紙本墨画		
		□ 千里往還	1943	紙本墨画		
		四季和歌色紙屏風	1946-48頃	紙本墨書		
		□ 刈田鶴(喜寿祝いの色紙)	1949	紙本着色		
		□ 楊柳観音	1950	紙本墨画		
		杉山半次郎宛書簡 カルカンと椎の実	1937	紙本墨書		
		杉山半次郎宛書簡 淡墨桜	1938	墨、紙、淡彩		
		□ 早川周三宛書簡 制作の信念	1899	紙本墨書		
		□ 早川周三宛書簡 戌の絵の約束	1909	紙本墨書		
		杉山半次郎宛書簡 鍾馗の制作	1902	紙本墨書		
		杉山半次郎宛書簡 祝賀会の断り	1940	紙本墨書		
		□ 若山喜一郎宛書簡 桜鯉と柿のお礼状	1931	紙本墨書		
		□ 若山喜一郎宛書簡 富有柿のお礼状	1933	紙本墨書		
		□ 若山喜一郎宛書簡 川鯉のお礼状	1943	紙本墨書		
		□ 若山宛書簡 鮎のお礼状と吉右衛門の件	1943以前	紙本墨書		
		□ 若山朗宛書簡 座椅子と脇息のお礼状	1944以降	紙本墨書		
		□ 若山喜一郎宛書簡 病気のお見舞い	1944以降	紙本墨書		
		□ 若山喜一郎宛書簡 体調の心配とお礼状	1944以降	紙本墨書		
		□ 若山宛書簡 鮎のお礼状	1944以降	紙本墨書		
		□ 若山喜一郎宛書簡 暑中見舞いと岐阜復興	1946頃	紙本墨書		
		□ 若山朗宛書簡 お梅やみ	1950	紙本墨書		
		□ 若山朗宛書簡 命名書	1952	紙本墨書		
		前田青邨	1885-1977	○ 祝日	1942	紙本着色
				● 応永の武者	1947	絹本着色
				○ 鶺鴒	1956頃	紙本墨画淡彩
				● 風神雷神	1958	紙本墨画淡彩
				○ 千羽鶴	1959	紙本着色
				● 紅白梅	1959頃	紙本着色
				● * 静物	1961	紙本着色
* 水辺春暖	1973			紙本着色		
○ * 梅に小禽	不詳			紙本着色		
○ * 紅白梅	不詳			紙本着色		
□ 若山朗宛絵葉書 柿のお礼	1947			紙本墨書		
□ 若山喜一郎宛葉書 名古屋院展案内	1949			紙本墨書		
□ 若山朗宛葉書 画の遅延連絡	1951			紙本墨書		

1 展示事業

2 教育普及活動

3 県民関連

4 所蔵作品と図書

5 組織と関連法規

6 沿革と施設

7 利用案内

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法・素材
前田青邨	1885-1977	<input type="checkbox"/> 若山朗宛葉書 風神雷神の絵を送った連絡	1953	紙本墨書
		<input type="checkbox"/> 若山朗宛葉書 年賀状	1954	紙本墨書
		<input type="checkbox"/> 若山朗宛葉書 鮎のお礼	1954	紙本墨書
		<input type="checkbox"/> 若山喜一郎宛葉書 水琴亭泊の連絡	1945-50	紙本墨書
		<input type="checkbox"/> 若山朗宛絵葉書 柿のお礼	1956	紙本墨書
加藤東一	1916-1996	● 鮎	1973	水彩、パステル、鉛筆、紙
		○ 山うど	1980	水彩、鉛筆、紙
山口蓬春	1893-1971	<input type="checkbox"/> 若山喜一郎宛書簡 戦地に赴く挨拶状	1942	紙本墨書
		<input type="checkbox"/> 若山喜一郎宛書簡 旧作失念の詫び状	不詳	紙本墨書

## 常設展示

作家名	作品名	制作年	技法・素材
<b>美術館ホール、ロビー</b>			
ジャコモ・マンズー	大きな枢機卿	1982	ブロンズ
ヴァレリアーノ・トルッピアーニ	錨を上げる	1975	ブロンズ、アルミニウム、鉄
<b>庭園(正面)</b>			
ピエール=オーギュスト・ルノワール	勝利のヴィーナス	1914	ブロンズ
アリスティド・マイヨール	地中海	1902-05	ブロンズ
高橋清	第3の太陽	1982	白御影石
李禹煥	関係項	1986	鉄、自然石
李禹煥	関係項	1987	鉄、自然石
大成浩	風の影 No.1	1982	白御影石
榎倉康二	壁	1971 (再制作1995)	コンクリート
小清水漸	アララの舟	1992	銅、鉄、水、白大理石
杉浦康益	陶による石の群	1985	陶
天野裕夫	バオバブ・ライオン	2002	陶、ブロンズ
林武史	立つ人一月見台	2010	安山岩
鯉江良二	森ヲ歩ク	1995	アルミニウム、基盤、電球等
<b>美術館ホール東側テラス</b>			
郭仁植	作品 86-ST	1986	米松、墨
<b>庭園(北)</b>			
田中薫	七つの積み木	1982	ステンレス・スチール、鉄、モーター、タイマー

## 1-2 企画展

### こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界

2023/7/21 [金] - 9/24 [日]

岐阜市に生まれた若山憲（1930-2015）の多彩な創作活動を探る、はじめての回顧展。

半世紀を超える大ロングセラー「こぐまちゃんえほん」シリーズ、民話をテーマとした絵本や詩集のための挿絵、雑誌の表紙原画、絵本制作の資料など約230点を通し、若山の色あせることのない豊かな作品世界を紹介した。特に、岐阜会場では、戦後童画と出会い、知られざる岐阜市展やグラフィックデザイナーとしての鍛錬、図書館設立に関わる功績など、重要な創作活動の過程を調査紹介。生涯にわたる創造と豊かな作品世界は全世代に大きな反響を呼んだ。

#### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室3
- ・出品点数：242点
- ・観覧料：一般1000円(900円)、大学生800円(700円)、高校生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金
- ・主催：岐阜県美術館、中日新聞社
- ・特別協力：偕成社、銀の鈴社、クレヨンハウス、佼成出版社、至光社、社会福祉法人 全国社会福祉協議会、世界文化社、童心社、ポプラ社、ほるぷ出版

作品リストは30ページ



### 越山若水が育んだ美 一福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展一

2023/10/14 [土] - 12/3 [日]

「越山若水」（えつざんじゃくすい）は福井県の美しい自然を表す言葉で、福井県民にとって馴染みのある、県を象徴する言葉となっている。令和3年度、両県文化交流の一環として連携展を福井県立美術館にて開催した。

令和5年度の本展は、交換展として岐阜県美術館にて開催したもの。福井県立美術館及び福井県立若狭歴史博物館のコレクション・寄託文化財から、岡倉天心ゆかりの画家たちの作品をはじめ、中近世及び近現代の福井ゆかりの作家の作品、仏教美術、日本画を中心に、国指定重要文化財を含む越前と若狭の名品を紹介した。

#### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室3
- ・出品点数：100点
- ・観覧料：一般1000円(900円)、大学生700円(600円)、高校生以下無料  
( )内は20名以上の団体料金
- ・主催：岐阜県美術館、岐阜新聞社 岐阜放送
- ・後援：朝日新聞社、NHK岐阜放送局
- ・協力：福井県立美術館、福井県立若狭歴史博物館
- ・助成：(公財) 田口福寿会、芸術文化振興基金助成事業

作品リストは40ページ



## 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代

2023/12/19 [火] - 2024/2/18 [日]

1948年に八木一夫、叶哲夫、山田光、松井美介、鈴木治の5人で結成された陶芸集団「走泥社」は、同人の入れ替わりをしながら半世紀にわたり、日本の陶芸界を牽引してきた。彼らの活動を見渡した時、その革新性が特に前半期に認められることから、本展では、走泥社結成25周年となる1973年までを主な対象とし、同時期の四耕会など時代を担ってきた当時の他の作家作品も加え、前衛陶芸が生まれた時代を再考した。

### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室3
- ・出品点数: 183点
- ・観覧料: 一般1000円(900円)、大学生800円(700円)、高校生以下は無料  
( )内は20名以上の団体料金
- ・主催: 岐阜県美術館、中日新聞社
- ・特別協力: 国立工芸館
- ・企画協力: 京都新聞社

作品リストは43ページ



## アートまるケット 展覧会を準備してます、展。

2024/1/13 [土] - 3/17 [日]

2015年度からはじまった日比野克彦館長ディレクションによる「アートまるケット」。岐阜県の言葉で「まみれる」を意味する「まるけ」と「マーケット」に「アート」を結び付け、「アートまみれ」にしようとする企画である。

第9回目となる今回は、展覧会が開催されるまでにはさまざまな準備が行われていることに焦点をあて、展覧会に観にくるだけでは知ることのできない、燻蒸や装丁などの舞台裏を紹介した。また、「つなぐ人 日比野克彦」による新プロジェクトで、ルドンコレクションが世界とつながり、新たなアートへの興味や関わり方を試みた。

### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室2
- ・出品点数: 6プロジェクト
- ・観覧料: 無料
- ・主催: 岐阜県美術館



## クロスアート4 ビロンギング —新しい居場所と手にしたもの—

2024/3/29 [金] - 6/23 [日]

日本国土のおよそ中央にある岐阜を交差点と見立て、それぞれの方向へと進んでいった岐阜県ゆかりの美術家を紹介するシリーズ展クロスアートの第4回を「ビロンギング」と題して開催した。

「ビロンギング」という言葉には「持ちもの」や「所属」といった意味があり、本展では、岐阜から出発し異なる境地に属して新たな技術を手にし、世界的評価を受ける5人の作家、松山智一、公花、後藤映則、横山奈美、山内祥太を紹介した。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室3
- ・出品点数：23点
- ・観覧料：一般1000円(900円)、大学生800円(700円)、高校生以下は無料  
( )内は20名以上の団体料金
- ・主催：岐阜県美術館
- ・後援：NHK岐阜放送局
- ・協力：EUKARYOTE、KENJI TAKI GALLERY、KOTARO NUKAGA、MATSUYAMA STUDIO、nomena inc.

作品リストは49ページ



## アートまるケット おうちに居ながら美術館 拡張現実で収蔵作品鑑賞

展示室を飛び出して岐阜をアートでいっぱいになりたいという思いから始まったシリーズ企画「アートまるケット」。コロナ禍となった2020年度から、岐阜県美術館が所蔵する作品をアーティスト鈴木一太郎が3DCG化し、AR（拡張現実）技術によって、利用者のお手元に届ける企画が始まった。

スマートフォンやタブレット端末を使って、岐阜県美術館の所蔵作品を好きなのところに飾り自宅に居ながら美術館賞を楽しむことができる。

# こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界

\*印は、こぐまちゃん絵本50周年を機に新たに制作されたリトグラフ

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
<b>1 紙芝居からの出発 こぐま社との出会いまで</b>					
岐阜1	若山が岐阜時代にデザインしたポスターの写真	1948-53年頃			個人蔵
岐阜2	第4回岐阜市展目録	1951年			個人蔵
岐阜3	第5回岐阜市展目録	1952年			個人蔵
岐阜4	第6回岐阜市展目録	1953年			個人蔵
岐阜5	『雪わたり』	1966年初版、1980年版			岐阜県図書館
<b>紙芝居『クリスマス おめでとう』 高橋五山 作、若山憲 画、1957年、童心社</b>					
1	『クリスマス おめでとう』紙芝居ケース	1957年			童心社
2	『クリスマス おめでとう』ラベル原画	1957年	9.1×30.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
<b>『りぼんをつけた おたまじゃくし』(『ロンパールームのほん』1967年版第3号) わだよしおみ 文、わかやまけん 絵、1967年、野村ト一(編集・製作=こぐま社)</b>					
3	おいけで、おたまじゃくしが、あそんでいます。…そこへ うなぎが、ぬつと かおを だしました。p.1-2	1967年	38.5×54.6	水彩・インク・色鉛筆/紙	個人蔵
4	みずくさや もが、いっぱいえています。まるで、ジャングルです。おたまじゃくしは、まいごになりました。p.7-8	1967年	38.5×54.8	水彩・インク・色鉛筆/紙	個人蔵
5	きんぎょを、いじめていたのは、おおきな おおきな、ざりがにです。p.13-14	1967年	38.6×55.3	水彩・インク・色鉛筆・ オイルパステル/紙	個人蔵
6	おともだちが、たすけにきてくれました。おいけがまっくろに になりました。p.15-16	1967年	38.5×54.3	水彩・インク・色鉛筆・ オイルパステル/紙	個人蔵
<b>『たろちゃんのおつかい』(『ロンパールームのほん』1967年版第10号) わだよしおみ 文、わかやまけん 絵、1967年、野村ト一(編集=こぐま社)</b>					
7	左:たろちゃんが おつかいに いきます。とおい おじいさんのうちまで プレゼントを もって いきます。 右:「エル、かえれ。ついてきては いけないよ。ぼくは、ひとりでいくん」p.1-2	1967年	37.6×53.5	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
8	「おや たろちゃん、ひとりで どこへ」ちゅん ちゅん、ことりがききました。p.3-4	1967年	38.2×53.8	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
9	かあかあ、からすが いいました。…「ぼくたちの うちゅうせん 1 ござだよ、のせてあげるよ」p.5-6	1967年	37.6×53.6	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
10	たいへんです。エルが おおぜい やってきました。…ぼうしと てぶくろを もった エルが、きゅうに にげだしました。p.15-16	1967年	37.6×53.6	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
<b>『きつねやまのよめいり』 わかやまけん 作、1968年/1978年改訂新版、こぐま社</b>					
11	…きつねのよめいりの ぎょうれつが、しずかに すすみます。p.9	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
12	こんどは にばんめの きつねが、およめに いくことになりました。p.11	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
13	…あたらしい こうそくどうろが、できていました。…まぶしくて とおれませぬ。p.15	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
14	よめいりみちが とおれないので、とおまわりして、からまつやまをこえていきました。p.17	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
15	さんばんめの きつねが、およめに いくことになりました。p.19	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
16	「あっ まぶしいっ」やまじゅうに でんきを つけて、スキーを しています。p.21	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
17	…ごばんめの きつねも、どうとう およめにいくひが きました。そのひは たいへんな ふぶぎになりました。p.25	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
18	やっと ふぶぎが やみました。p.27	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
19	ダダァン p.29	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
20	…ごばんめの きつねの ちょうちんだけが、うかんでいました。p.31	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
21	きつねやまの きつねたちが、あとから あとから…あつまってきた。 p.35	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
22	ごばんめの きつねは みつかりません。…ちようちんの あかりが、ゆれながら うごいていきます。 p.37	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
23	きつねたちは どこまでも さがしつづけて いきました。 p.39	1978年	39.3×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
<b>『原色科学ブック』 1970-71年、世界文化社</b>					
<b>『第17巻 じっけんあそび』「3.みずの じっけん」 かこさとし 編集協力、若山憲 絵、『第19巻 ことばあそび』「3.ひらがなと かたかな」 森久保仙太郎 文、若山憲 絵</b>					
24	「あきかんふんすいのつくりかた」(『第17巻 じっけんあそび』) p.37	1971年	33.8×22.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
25	「なかなかこぼれないよ」(『第17巻 じっけんあそび』) p.41	1971年	33.4×23.0	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
26	「おかねが きえる?」カット(『第17巻 じっけんあそび』) p.43	1971年	20.2×23.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
27	「ひみつのみち」(『第19巻 ことばあそび』) p.48-49	1971年	37.7×53.7	水彩・鉛筆・ オイル/パステル/紙	個人蔵
28	「まいごのこいぬ」(『第19巻 ことばあそび』) p.50-51	1971年	37.7×53.7	水彩・鉛筆・ オイル/パステル/紙	個人蔵
<b>2 こぐまちゃん、しろくまちゃん誕生</b>					
<b>『こぐまちゃんおはよう』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1970年、こぐま社</b>					
29	絵本『こぐまちゃんおはよう』初版	1970年			こぐま社
30	『こぐまちゃんおはよう』表紙	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
31	こぐまちゃんは じぶんで かおを あらいます p.3	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
32	あさごはんです いただきます p.5	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
33	きんぎょちゃん きんぎょちゃん あさごはんですよ p.7	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
34	ぞうさん きりんちゃん おもちゃばこから でておいで p.9	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
35-1,2	…たったか たったか たったかた きりんちゃんが ころんだ p.11 p.12	1970年	39.5×43.5 39.5×30.6	リトグラフ/紙	こぐま社
36	みんな いっしょに だっこ まんいんだよ p.14	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
37	まだですか まだですよ こぐまちゃんは まいにち うんちを します p.16	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
38	おふろです びちゃ びちゃ びゅっ びゅっ p.18	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
39	…おやすみなさい こぐまちゃん p.20	1970年	39.5×55.0	リトグラフ/紙	こぐま社
岐阜6	絵本『しろくまちゃんのほっとけき』	1972年初版、1995年版			岐阜県図書館
岐阜7	わかやまけんデザイン「大泉図書館ごあんない」	1980年			練馬区立 大泉図書館
岐阜8	わかやまけんデザイン「大泉図書館ごあんない」	1980年			練馬区立 大泉図書館
岐阜9	わかやまけんデザイン「しおり」	1980年			練馬区立 大泉図書館
岐阜10	大泉図書館開館記念パンフレット	1980年			練馬区立 大泉図書館
<b>『こぐまちゃんとはーる』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1970年、こぐま社</b>					
40	たかい たかい こぐまちゃんは ほうる p.5	1970年	32.0×47.0	リトグラフ/紙	こぐま社
41	ないよ ないよ ぼーるが ないよ p.16	1970年	32.0×47.0	リトグラフ/紙	こぐま社
42	…こぐまちゃんは ぼーるが だいすき p.20	1970年	32.0×47.0	リトグラフ/紙	こぐま社

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
<b>『こぐまちゃんとうぶつえん』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1970年、こぐま社</b>					
43	しろくまちゃんは なにが みたい ペンギン p.3	1970年	39.5×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
44-1,2	かばが うんち ぴっ ぴっ ぴっ しっぽを ふりまわしてる p.11 p.12	1970年	39.5×54.4 39.5×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
45	ペンギンさんは おさかなのはん p.16	1970年	39.5×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
<b>『こぐまちゃんのうんてんしゅ』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1971年、こぐま社</b>					
46	こうそくどうろだ すびーど あげた p.9	1971年	39.5×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
47	どっしん ぼん しょうとつだ p.18	1971年	39.5×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
48	おおきな ばすを ひっぽって れつかーしゃは ちからもち p.20	1971年	28.5×38.5	リトグラフ/紙	こぐま社
<b>『こぐまちゃんのみずあそび』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1971年、こぐま社</b>					
49	おもしろい おもしろい つめたい つめたい p.11-12	1971年	38.0×56.5	リトグラフ/紙	こぐま社
50	…ふたりとも だるまこに なっちゃった p.18	1971年	28.5×38.0	リトグラフ/紙	こぐま社
51	…しゃわーの おと ばら ばら ばらん おもしろい p.20	1971年	28.5×30.3	リトグラフ/紙	こぐま社
<b>『こぐまちゃんいたいいたい』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1971年、こぐま社</b>					
52	つみきが すとん あしに こつん あ いたい p.5	1971年	28.5×38.0	リトグラフ/紙	こぐま社
53	いたい いたい おおきなこぶ できちゃった p.11-12	1971年	38.5×56.7	リトグラフ/紙	こぐま社
54	あたまに ざぶとん のせて ゆっくり ゆっくり おりるんだ p.14	1971年	28.5×38.0	リトグラフ/紙	こぐま社
<b>『こぐまちゃんとふうせん』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1972年、こぐま社</b>					
55	『こぐまちゃんとふうせん』 表紙	1972年	38.5×56.5	リトグラフ/紙	こぐま社
56	ぼく ふうせん かって もらったんだ p.1	1972年	28.5×38.5	リトグラフ/紙	こぐま社
57	わあー おおきい おかあさん じょうずね p.11-12	1972年	38.2×56.5	リトグラフ/紙	こぐま社
<b>『しろくまちゃんのほっとけーき』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1972年、こぐま社</b>					
58	絵本『しろくまちゃんのほっとけーき』1972年				こぐま社
59	『しろくまちゃんのほっとけーき』 表紙、裏表紙	1972年	38.5×56.5	リトグラフ/紙	こぐま社
60	わたし ほっとけーき つくるのよ p.1	1972年	28.0×38.2	リトグラフ/紙	こぐま社
61	ふらいばんと ぼーると おおきな おさを そろえました p.3	1972年	28.5×38.0	リトグラフ/紙	こぐま社
62	ふらいばんと ぼーると おおきな おさを そろえました* p.3	2019年	29.0×38.5	リトグラフ/紙	こぐま社
63	…たまご ぼとん あっ われちゃった p.5	1972年	28.5×31.5	リトグラフ/紙	こぐま社
64	…たまご ぼとん あっ われちゃった* p.5	2019年	29.0×38.5	リトグラフ/紙	こぐま社
65	たまごを わって ぎゅうにゅう いれて よく かきまぜるのね p.7	1972年	28.2×33.5	リトグラフ/紙	こぐま社
66	…こなは ふわふわ ぼーるは ごとごと だれか ぼーるを おさえて p.9	1972年	28.3×38.2	リトグラフ/紙	こぐま社
67	ぼたあん だるま びちびちびち…やけたかな…ぼいっ あぶらを ひいて p.11-12	1972年	38.0×56.5	リトグラフ/紙	こぐま社
68	ぼたあん だるま びちびちびち…やけたかな…ぼいっ はい できあがり* p.11-12	2019年	38.0×57.3	リトグラフ/紙	こぐま社
69	できた できた ほかほかの ほっとけーき p.14	1972年	28.4×37.0	リトグラフ/紙	こぐま社
70	こぐまちゃん ほっとけーき つくったわよ p.16	1972年	28.5×38.3	リトグラフ/紙	こぐま社
71	おいしいね これ しろくまちゃんが つくったの p.18	1972年	28.7×38.0	リトグラフ/紙	こぐま社

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
72	おいしいね これ しろくまちゃんが つくったの* p.18	2019年	28.2×38.5	リトグラフ/紙	こぐま社
73	…ほら あわの ほっとけーきだよ p.20	1972年	28.5×38.1	リトグラフ/紙	こぐま社
74	…いっばい たべたね おいしかったね* p.20	2019年	28.5×38.2	リトグラフ/紙	こぐま社
『こぐまちゃんおやすみ』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1973年、こぐま社					
75	『こぐまちゃんおやすみ』 表紙、裏表紙	1973年	39.0×54.0	リトグラフ/紙	こぐま社
76	左:ねるまえに はを みがくの ぼく しているんだ 右:ぼちよ ぼちよ ぼちよ p.9,p.14	1973年	38.5×54.5	リトグラフ/紙	こぐま社
77	おとうさんは おおぐまやま はつけよい のこった p.11-12	1973年	38.8×54.5	リトグラフ/紙	こぐま社
78	「こぐまちゃんえほん」下絵	1970年	27.0×37.5	水彩・鉛筆/紙	こぐま社
79	「こぐまちゃんえほん」下絵	1970年	27.2×39.6	水彩・鉛筆/紙	こぐま社
80	「こぐまちゃんえほん」下絵	1970年	27.0×39.2	水彩・鉛筆/紙	こぐま社
81	「こぐまちゃんえほん」下絵	1970年	27.1×37.6	水彩・鉛筆/紙	こぐま社
82	『しろくまちゃんのほっとけーき』* 表紙、裏表紙	2019年	38.0×57.3	リトグラフ/紙	こぐま社
83-1	『しろくまちゃんのほっとけーき』表紙、裏表紙 6色描き分け原画(スミ)	1972年	38.0×54.0	ポスターカラー・インク/紙	こぐま社
83-2	『しろくまちゃんのほっとけーき』表紙、裏表紙 6色描き分け原画(アイ)	1972年	38.0×54.0	ポスターカラー/ スミ版がアタリとして 印刷された紙	こぐま社
83-3	『しろくまちゃんのほっとけーき』表紙、裏表紙 6色描き分け原画(グレー)	1972年	38.0×54.0	ポスターカラー/ スミ版がアタリとして 印刷された紙	こぐま社
83-4	『しろくまちゃんのほっとけーき』表紙、裏表紙 6色描き分け原画(ミドリ)	1972年	38.0×54.0	ポスターカラー/ スミ版がアタリとして 印刷された紙	こぐま社
83-5	『しろくまちゃんのほっとけーき』表紙、裏表紙 6色描き分け原画(オレンジ)	1972年	38.0×54.0	ポスターカラー/ スミ版がアタリとして 印刷された紙	こぐま社
83-6	『しろくまちゃんのほっとけーき』表紙、裏表紙 6色描き分け原画(キイロ)	1972年	38.0×54.0	ポスターカラー/ スミ版がアタリとして 印刷された紙	こぐま社
84-1	『しろくまちゃんのほっとけーき』分色刷本(スミ)	2021年	59.4×84.1	印刷物	こぐま社
84-2	『しろくまちゃんのほっとけーき』分色刷本(アイ)	2021年	59.4×84.1	印刷物	こぐま社
84-3	『しろくまちゃんのほっとけーき』分色刷本(グレー)	2021年	59.4×84.1	印刷物	こぐま社
84-4	『しろくまちゃんのほっとけーき』分色刷本(ミドリ)	2021年	59.4×84.1	印刷物	こぐま社
84-5	『しろくまちゃんのほっとけーき』分色刷本(オレンジ)	2021年	59.4×84.1	印刷物	こぐま社
84-6	『しろくまちゃんのほっとけーき』分色刷本(キイロ)	2021年	59.4×84.1	印刷物	こぐま社
85	こぐま社お誕生日カード リトグラフ	1971年	12.1×15.1	リトグラフ/紙	こぐま社
86-1	こぐま社お誕生日カード ジンク版(スミ)	1971年頃	13.4×17.8	ジンク(亜鉛)板	こぐま社
86-2	こぐま社お誕生日カード ジンク版(アイ)	1971年頃	13.4×17.8	ジンク(亜鉛)板	こぐま社
86-3	こぐま社お誕生日カード ジンク版(グレー)	1971年頃	13.4×17.8	ジンク(亜鉛)板	こぐま社
86-4	こぐま社お誕生日カード ジンク版(ミドリ)	1971年頃	13.4×17.8	ジンク(亜鉛)板	こぐま社
86-5	こぐま社お誕生日カード ジンク版(オレンジ)	1971年頃	13.4×17.8	ジンク(亜鉛)板	こぐま社
86-6	こぐま社お誕生日カード ジンク版(キイロ)	1971年頃	13.4×17.8	ジンク(亜鉛)板	こぐま社
87	こぐま社創立10周年記念 贈答用リトグラフ	1976年	29.0×38.5	リトグラフ/紙	こぐま社

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
88	こぐま社創立10周年記念 贈答用リトグラフ 7色描き分け原画(スミ)	1976年頃	27.2×28.3	ポスターカラー/紙	こぐま社
89	こぐまちゃんフェア用ポスター 色指定原画	1984年	38.2×54.0	インク/紙 色鉛筆/ トレーシングペーパー	こぐま社
90	「ほるぷ」こども図書館カレンダー 色指定原画	1988年	39.4×51.8	インク/紙 インク・色鉛筆/ トレーシングペーパー	こぐま社
91	絵本『しろくまちゃんのほっとけーき』点訳本(制作=てんやく絵本 ふれあい文庫)				こぐま社
92	絵本『てんじつき さわるえほん しろくまちゃんのほっとけーき』2009年(こぐま社)				こぐま社
93	絵本『しろくまちゃんのほっとけーき』韓国語版 2001年(Boim Publishing)				こぐま社
94	絵本『しろくまちゃんのほっとけーき』中国語版 2012年(北京聯合出版公司)				こぐま社

### 3 絵を読む絵本「純絵本」をめざして

#### 『ぼくみてんだ』 武市八十雄 案、わかやまけん 文・絵、1970年(『こどものせかい』22巻10号) /1970-71年単行本化、至光社

95-1	おやっ らいちょうくん しろくなっても へいきなのかい p.8	1970年	33.7×41.1	オイルパステル・水彩/紙	個人蔵
95-2	雪の版のための原画 p.8	1970年	37.8×32.6	オイルパステル/紙	個人蔵
96-1	『ぼくみてんだ』p.12-13	1970年	37.8×53.3	オイルパステル・水彩/紙	個人蔵
96-2	雪の版のための原画 p.12-13	1970年	37.8×53.3	オイルパステル/紙	個人蔵

#### 『おばけのどろんどろん』 わかやまけん 作・絵、1980年、ポプラ社

97	あたたかい よるです。おばけの どろんどろんは いけの うえを さんぽしてました。 p.2-3	1980年	38.3×54.2	水彩/紙	個人蔵
98	「へんだな。」p.18	1980年	38.3×27.1	水彩/紙	個人蔵
99	「こわいな。」p.19	1980年	38.3×27.1	水彩/紙	個人蔵
100	「ちがうよ。おばけじゃないよ。おたまじゃくしに あしが はえて、 てが はえて、ぼくたち かえるに なるんだよ。」 p.30-31	1980年	38.3×54.2	水彩/紙	個人蔵

#### 『おばけのどろんどろんとびかひかおばけ』 わかやまけん 作・絵、1981年、ポプラ社

101	「…わたしたちと いっしょに あそびましょうよ。」…どろんどろんは ほたるの わを すろっ すろっ と くぐりぬけます。 p.8-9	1981年	35.5×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
102	「たいへん、たいへん、こうもりよ。」…「…わたしたち たべられてしまう。」p.10-11	1981年	38.1×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
103	「ここに いれば だいじょうぶだよ。」p.12-13	1981年	38.1×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
104	「…ああ、たすかったわ。ありがとう。」…ほたるたちは…どろんどろんと てを つなぎました。 p.14-15	1981年	38.0×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
105	ほたるたちは おおきな どろんどろんの かたちに になりました。 p.16-17	1981年	38.2×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
106	また こうもりの はねの おとが きこえてきました。 p.18-19	1981年	38.2×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
107	「…みんな あかりを けて、ぼくの おなかに はいってよ。」p.20	1981年	38.2×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
108	どろんどろんの おなかは はちきれそうに になりました。 p.22-23	1981年	38.2×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
109	「ほたるの においが するぞ。」…「この ふうせんみたいなのが あやしいぞ。」p.24-25	1981年	38.2×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
110	「わあ、まぶしいっ。」ほたるたちが そろって あかりを つけたのです。 p.26-27	1981年	38.1×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
111	「わあ、おおきな びかひかおばけだあ。」こうもりたちは…にげました。 p.28-29	1981年	38.2×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
112	「ほたるさん、もっと あそぼうよ。」…「わたしたちが ひかって いられるのは ちょっとのあいだけなの。」 p.30-31	1981年	38.2×54.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
<b>『おばけのどろんどろんのおかあさん』 わかやまけん 作・絵、1986年、ポプラ社</b>					
113	『おばけのどろんどろんのおかあさん』表紙、背表紙	1986年	38.0×54.1	水彩/紙	個人蔵
<b>『おばけのどろんどろんとぼこぼこぼこ』 わかやまけん 作・絵、1989年、ポプラ社</b>					
114	…どろんどろんは ともだちと いっしょに ねむりました。p.30-31	1989年	38.5×54.2	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
<b>『にわか雨はざんざんぶり』 わかやまけん 作、1985年、こぐま社</b>					
115	『にわか雨はざんざんぶり』p.14-15	1985年	39.4×54.2	リトグラフ/紙	こぐま社
116	『にわか雨はざんざんぶり』p.16-17	1985年	39.4×54.2	リトグラフ/紙	こぐま社
117	『にわか雨はざんざんぶり』p.18-19	1985年	39.4×54.2	リトグラフ/紙	こぐま社
118	ふかそうだよ。へいき へいき。p.24-25	1985年	39.4×54.2	リトグラフ/紙	こぐま社
<b>『おいしいねおいしいよ』 わかやまけん 作、阿部明子 企画協力、1983年、童心社</b>					
119	おひるの ごはんですよ。おいしい ごはんですよ。p.18-19	1983年	38.1×54.1	水彩/紙	個人蔵
<b>『おんぶに だっこ』 わかやまけん 作、阿部明子 企画協力、1983年、童心社</b>					
120	『おんぶに だっこ』表紙(右)、裏表紙(左)	1983年	38.1×54.1	水彩/紙	個人蔵
121	『おばけのどろんどろんとびかびかおばけ』下絵 p.12-13	1981年	39.2×54.7	鉛筆/紙	個人蔵
122	『おばけのどろんどろんとびかびかおばけ』下絵 p.26-27	1981年	39.2×54.7	鉛筆・インク/紙	個人蔵
123-1	『きつねやまのよめいり』関連資料 「ひらめき」のアイデアスケッチ	1968年頃	25.3×35.8	鉛筆/紙	個人蔵
123-2	『きつねやまのよめいり』関連資料 「ヒナガタ」	1968年頃	11.2×25.0	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
123-3	『きつねやまのよめいり』関連資料 「ヒナガタ」	1968年頃	9.9×25.8	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
123-4	『きつねやまのよめいり』関連資料 「ワクとり」	1968年頃	19.8×27.2	鉛筆/紙	個人蔵
123-5	『きつねやまのよめいり』関連資料 「ワクとり」	1968年頃	19.8×27.2	鉛筆/紙	個人蔵
123-6	『きつねやまのよめいり』関連資料 下絵	1968年頃	13.6×19.8	鉛筆/紙	個人蔵
123-7	『きつねやまのよめいり』関連資料 下絵	1968年頃	13.6×19.8	鉛筆/紙	個人蔵
123-8	『きつねやまのよめいり』関連資料 下絵	1968年頃	13.6×19.8	鉛筆/紙	個人蔵
123-9	『きつねやまのよめいり』関連資料 下絵	1968年頃	13.6×19.8	鉛筆/紙	個人蔵
123-10	『きつねやまのよめいり』関連資料 下絵	1968年頃	13.6×19.8	鉛筆/紙	個人蔵
123-11	『きつねやまのよめいり』関連資料 下絵	1968年頃	13.6×19.8	鉛筆/紙	個人蔵
124	豆本「ゆきが おっかけてくる」	1971年頃	5.3×5.0× (厚み) 0.4	鉛筆・色鉛筆/紙	個人蔵
125	豆本「おばけの すろすろ」	1979年	5.0×4.3× (厚み) 0.8	鉛筆・水彩・インク/紙	個人蔵
126	豆本「おばけのどろんどろんと おたまじゃくし」	1979年	7.0×6.0× (厚み) 1.7	鉛筆・水彩・インク/紙	個人蔵
127	豆本「ちょっと そこまで」	1980年	8.9×10.4× (厚み) 0.6	鉛筆・色鉛筆/紙	個人蔵
128	豆本「ちょっと そこまで」	1980年	8.8×10.3× (厚み) 0.8	サインペン・色鉛筆/紙	個人蔵
129	豆本「どろんどろんと こもり」	1981年	8.2×7.2× (厚み) 1.8	鉛筆・水彩・インク/紙	個人蔵
130	豆本「おばけのどろんどろんと びかびかおばけ」	1981年	8.1×7.3× (厚み) 2.4	鉛筆・水彩・インク/紙	個人蔵
131	豆本「さるさん おはよう」	1981年	7.7×7.7× (厚み) 1.3	鉛筆・水彩/紙	個人蔵

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
132	豆本「かめさん おはよう」	1981年	7.6×7.5× (厚み) 1.4	鉛筆・水彩/紙	個人蔵
133	豆本「りすさん おはよう」	1981年	7.6×7.6× (厚み) 1.4	鉛筆・水彩/紙	個人蔵
134	雑誌『月刊絵本』創刊(5月)号 1973年(盛光社)				個人蔵
135	書籍『絵本の見かた・創りかた』若山憲 著 1975年(すばる書房盛光社)				個人蔵
<b>4 ひろがるわかやまけんの世界</b>					
<b>『たねからめがでて』 かこさとし 著、若山憲 絵、1968年/1988年新版、童心社</b>					
136	絵本『たねからめがでて』1968年				個人蔵
137	『たねからめがでて』表紙、裏表紙	1968年	28.4×53.4	水彩・色鉛筆・ オイルパステル/紙	個人蔵
138	『たねからめがでて』p.2-3	1968年	21.0×37.0	水彩・色鉛筆・インク/紙	個人蔵
139	『たねからめがでて』p.12-13	1968年	21.0×38.2	水彩・インク/紙	個人蔵
140	絵本『たねからめがでて』新版 1988年				個人蔵
<b>『てぶくろをかいに』 新美南吉 文、わかやまけん 絵、1970年、ポプラ社</b>					
141	『てぶくろをかいに』p.2-3	1970年	38.5×54.5	水彩・オイルパステル・ 鉛筆/紙	個人蔵
142	『てぶくろをかいに』p.6-7	1970年	38.4×54.5	水彩・オイルパステル・ 鉛筆/紙	個人蔵
143	『てぶくろをかいに』p.22-23	1970年	38.6×54.5	水彩・オイルパステル・ 鉛筆/紙	個人蔵
144	『てぶくろをかいに』p.24-25	1970年	38.5×54.6	水彩・オイルパステル・ 鉛筆/紙	個人蔵
<b>『ごんぎつね』 新美南吉 著、若山憲 カバー絵/さし絵、1978年、ポプラ社</b>					
145	『ごんぎつね』表紙	1978年	27.0×19.1	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
146	『ごんぎつね』裏表紙	1978年	27.0×18.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
147	『ごんぎつね』p.17	1978年	19.1×14.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
<b>『ちびっこ ちびおに』 あまみきこ 文、若山憲 絵、1974年、偕成社</b>					
148	『ちびっこ ちびおに』p.20-21	1974年	37.8×53.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
149	『ちびっこ ちびおに』p.22-23	1974年	37.8×53.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
150	『ちびっこ ちびおに』p.26-27	1974年	37.8×53.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
151	『ちびっこ ちびおに』p.32-33	1974年	37.8×53.4	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
<b>『たっちゃんのながぐつ』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1976年/2013年改訂新版、こぐま社</b>					
152	くつやさんに きました。ながぐつが たくさん ならんでいます。 p.2	1976年	26.7×37.8	鉛筆・水彩/紙	こぐま社
153	ねるときは まくらもとに ちゃんと ならべておきます。 p.7	1976年	26.7×37.8	鉛筆・水彩/紙	こぐま社
154	ながぐつ けんけん みずたまり びちゃ びちゃ びっちゃん びっちゃんちゃん 表紙およびp.16	1976年	26.7×37.8	鉛筆・水彩/紙	こぐま社
155	『たっちゃんのながぐつ』刷本	2021年	54.3×39.5	印刷物	こぐま社
<b>『さっちゃんとかあちゃん』 森比左志 わだよしおみ わかやまけん 作、1976年/2013年改訂新版、こぐま社</b>					
156	「ただいま さっちゃん」「ほら、あかちゃんだよ」p.6	1976年	16.2×19.5	鉛筆・水彩/紙	こぐま社
157	あかちゃんは ぎょうずいを します。表紙およびp.10	1976年	16.2×19.5	鉛筆・水彩/紙	こぐま社
158	「なっちゃん あそびましょ」さっちゃんが おもちゃを たくさん ならべました。 p.14	1976年	16.2×19.5	鉛筆・水彩/紙	こぐま社

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
<b>紙芝居『よっちゃんはうんちはかせ』 今井和子 脚本、わかやまけん 画、1991年、童心社</b>					
159	『よっちゃんはうんちはかせ』第2場面	1991年	38.5×54.5	水彩/紙	個人蔵
160	『よっちゃんはうんちはかせ』第5場面	1991年	38.5×54.5	水彩/紙	個人蔵
161	『よっちゃんはうんちはかせ』第8場面	1991年	38.5×54.5	水彩/紙	個人蔵
162	『よっちゃんはうんちはかせ』第12場面	1991年	38.5×54.5	水彩/紙	個人蔵
<b>『かばのさかだちあいうえお』 吉田定一作、若山憲 絵、1978年、ポプラ社</b>					
163	「か」(かば) p.7	1978年	38.2×54.0	水彩/紙	個人蔵
164	「せ」(せみ) p.15	1978年	38.5×54.2	水彩/紙	個人蔵
165	「た」(たい) p.17	1978年	38.5×54.2	水彩/紙	個人蔵
<b>『からすからす かんざぶろう』 吉田定一文、若山憲 絵、1979年、佼成出版社</b>					
166	『からすからす かんざぶろう』p.13	1979年	38.1×27.1	水彩/紙	個人蔵
167	『からすからす かんざぶろう』p.15	1979年	38.1×27.1	水彩/紙	個人蔵
168	『からすからす かんざぶろう』表紙、裏表紙およびp.24-25	1979年	38.1×54.2	水彩/紙	個人蔵
<b>『ゆきや こんこん』 吉田定一文、若山憲 絵、1981年、佼成出版社</b>					
169	『ゆきや こんこん』p.6	1981年	38.3×27.1	水彩/紙	個人蔵
170	『ゆきや こんこん』表紙およびp.16-17	1981年	38.3×54.2	水彩/紙	個人蔵
171	『ゆきや こんこん』p.18-19	1981年	38.3×54.2	水彩/紙	個人蔵
<b>『あかべこのおはなし』 わだよしおみ 文、わかやまけん 絵、1980年、こぐま社</b>					
172	『あかべこのおはなし』表紙	1980年	39.4×54.8	リトグラフ/紙	こぐま社
173	…「あそこに みえるのは なんだろう。ぼくと おんなじ いろだ」 p.2-3	1980年	39.7×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
174	あかべこは ねこのおじいさんに おんぶしてもらって おもてへ でました。 p.12-13	1980年	39.4×54.5	リトグラフ/紙	こぐま社
175	「あ かめさん。おんぶして。ね つれてって」p.28	1980年	39.4×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
176	もみじの ばんだいさんに ゆうひがてって まっかです。 p.46-47	1980年	39.4×54.4	リトグラフ/紙	こぐま社
177	『あかべこのおはなし』スケッチ		20.3×22.5	鉛筆/紙	個人蔵
178	『あかべこのおはなし』「ワクとり」		27.1×39.4	鉛筆/紙	個人蔵
179	『あかべこのおはなし』下絵		19.7×27.3	鉛筆/紙	個人蔵
180	若山が所蔵していたあかべこ		[大] 高16.0×幅10.0×奥行26.0 [小] 高12.0×幅6.0×奥行20.0		個人蔵
<b>紙芝居『かぜのかみとこども』 渋谷勲 脚本、わかやまけん 画、1983年、童心社</b>					
181	『かぜのかみとこども』紙芝居ケース	1983年	26.4×38.2		童心社
182-1	『かぜのかみとこども』題字	1983年	27.2×38.0	水彩/紙	個人蔵
182-2	『かぜのかみとこども』ラベル原画	1983年	27.2×38.0	水彩/紙	個人蔵
<b>『子そだてううれい』 桜井信夫 文、若山憲 絵、1984年、ほるぷ出版</b>					
183	『子そだてううれい』p.3	1984年	38.4×54.2	水彩・パステル/紙	個人蔵
184	『子そだてううれい』p.5	1984年	38.2×52.9	水彩・パステル/紙	個人蔵
185	『子そだてううれい』p.13	1984年	38.2×54.2	水彩・パステル/紙	個人蔵
186	『子そだてううれい』p.27	1984年	38.2×54.2	水彩・パステル/紙	個人蔵

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
<b>『野火』 高田敏子 主宰、野火の会</b>					
187-1	詩誌『野火』21号	1969年5月			個人蔵
187-2	詩誌『野火』24号	1969年11月			個人蔵
187-3	詩誌『野火』25号	1970年1月			個人蔵
187-4	詩誌『野火』47号	1973年9月			個人蔵
187-5	詩誌『野火』50号	1974年3月			個人蔵
187-6	詩誌『野火』52号	1974年7月			個人蔵
<b>『愛のバラード』 高田敏子 著、若山憲 装幀・挿画、1969年、山梨シルクセンター出版部</b>					
188	詩集『愛のバラード』	1969年			個人蔵
<b>『のんびりくらげ』 前山敏子 詩、若山憲 絵、1996年、教育出版センター</b>					
189	詩集『のんびりくらげ』	1996年			個人蔵
190	『のんびりくらげ』表紙	1996年	38.4×26.7	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
<b>『地球の星の上で』 川端律子 詩、若山憲 絵、1997年、教育出版センター</b>					
191	詩集『地球の星の上で』	1997年			個人蔵
192	「トランペットの花」のためのカット p.11	1997年	13.6×19.7	インク/紙	個人蔵
193	「一点を 見つめる」のためのカット p.17	1997年	13.6×19.7	インク/紙	個人蔵
194	「つぎめが ない」のためのカット p.19	1997年	13.6×19.7	インク/紙	個人蔵
195	「じてんしゃ雲」のためのカット p.27	1997年	13.6×19.7	インク/紙	個人蔵
196	「シマフクロウコタン コル カムイー」のためのカット p.36	1997年	13.6×19.7	インク/紙	個人蔵
<b>『白い煙突 北緯110°11′』 若山憲 著、1995年、教育出版センター</b>					
197	詩画集『白い煙突 北緯110°11′』	1995年			個人蔵
198	『白い煙突 北緯110°11′』p.19	1995年	13.6×19.2	鉛筆/紙	個人蔵
199	『白い煙突 北緯110°11′』p.29	1995年	13.6×19.2	鉛筆/紙	個人蔵
<b>5 一点で物語る</b>					
<b>『保育の友』 全国社会福祉協議会出版部</b>					
200-1	雑誌『保育の友』1982年8月号	表紙			個人蔵
200-2	雑誌『保育の友』1983年3月号	表紙			個人蔵
200-3	雑誌『保育の友』1983年5月号	表紙			個人蔵
200-4	雑誌『保育の友』1983年12月号	表紙			個人蔵
200-5	雑誌『保育の友』1985年12月号	表紙			個人蔵
200-6	雑誌『保育の友』1986年10月号	表紙			個人蔵
200-7	雑誌『保育の友』1987年7月号	表紙			個人蔵
200-8	雑誌『保育の友』1988年6月号	表紙			個人蔵
200-9	雑誌『保育の友』1991年4月号	表紙			個人蔵
200-10	雑誌『保育の友』1991年10月号	表紙			個人蔵
201	『保育の友』1982年8月号	表紙原画	38.1×26.2	水彩/紙	個人蔵
202	『保育の友』1982年11月号	表紙原画	38.3×26.2	水彩/紙	個人蔵
203	『保育の友』1983年3月号	表紙原画	38.1×26.8	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
204	『保育の友』1983年4月号	表紙原画	38.1×27.0	水彩/紙	個人蔵

No.	作品(資料)名 刊行物掲載頁	制作(刊行)年	寸法(cm)	技法/材質	所蔵
205	『保育の友』1983年5月号 表紙原画		38.0×26.2	水彩/紙	個人蔵
206	『保育の友』1983年6月号 表紙原画		38.1×27.0	水彩/紙	個人蔵
207	『保育の友』1983年12月号 表紙原画		38.1×26.5	水彩/紙	個人蔵
208	『保育の友』1984年1月号 表紙原画		38.0×27.0	水彩/紙	個人蔵
209	『保育の友』1984年3月号 表紙原画		38.0×27.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
210	『保育の友』1984年4月号 表紙原画		38.0×27.0	水彩/紙	個人蔵
211	『保育の友』1984年9月号 表紙原画		38.3×27.2	水彩/紙	個人蔵
212	『保育の友』1984年10月号 表紙原画		38.3×26.8	水彩/紙	個人蔵
213	『保育の友』1985年1月号 表紙原画		38.0×27.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
214	『保育の友』1985年3月号 表紙原画		38.3×26.2	水彩/紙	個人蔵
215	『保育の友』1985年6月号 表紙原画		38.0×27.0	水彩/紙	個人蔵
216	『保育の友』1985年7月号 表紙原画		38.0×27.0	水彩/紙	個人蔵
217	『保育の友』1985年12月号 表紙原画		38.0×27.0	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
218	『保育の友』1986年8月号 表紙原画		38.3×27.3	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
219	『保育の友』1986年9月号 表紙原画		37.9×27.0	水彩/紙	個人蔵
220	『保育の友』1986年10月号 表紙原画		38.3×26.2	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
221	『保育の友』1987年7月号 表紙原画		38.3×26.2	水彩/紙	個人蔵
222	『保育の友』1988年3月号 表紙原画		38.3×27.1	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
223	『保育の友』1988年5月号 表紙原画		38.3×27.1	水彩・色鉛筆・鉛筆/紙	個人蔵
224	『保育の友』1988年6月号 表紙原画		38.3×27.2	水彩・色鉛筆・鉛筆/紙	個人蔵
225	『保育の友』1989年8月号 表紙原画		38.3×27.2	水彩・鉛筆/紙	個人蔵
226	『保育の友』1990年9月号 表紙原画		38.3×27.1	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
227	『保育の友』1990年12月号 表紙原画		38.3×27.1	水彩・色鉛筆・鉛筆/紙	個人蔵
228	『保育の友』1991年4月号 表紙原画		38.3×26.2	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵
229	『保育の友』1991年4月号 表紙下絵		27.4×19.8	鉛筆/紙	個人蔵
230	『保育の友』1991年4月号 表紙下絵		27.4×19.8	鉛筆/紙	個人蔵
231	『保育の友』1991年10月号 表紙原画		38.3×26.2	水彩/紙	個人蔵
232	『保育の友』1991年11月号 表紙原画		38.3×26.2	水彩・色鉛筆/紙	個人蔵



# 越山若水が育んだ美—福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展—

前期: 10月14日(土) - 11月5日(日) 後期: 11月7日(火) - 12月3日(日)

重要文化財=◎ 重要美術品=○ 福井県指定有形文化財=■ 小浜市指定有形文化財=□

No. 指定作者	作品名	制作年代	材質技法・形状	所蔵	展示期間
<b>第一章 信仰の美術</b>					
1	十六羅漢図	南北朝時代(14世紀)	絹本着色・軸(対幅)	福井県立美術館	前期
2	羅漢図	室町時代(15世紀)	絹本着色・軸(2幅)	福井県立美術館	前期
3	阿弥陀三尊来迎図	鎌倉時代(13世紀)	絹本着色・軸	福井県立美術館	後期
4	二十五菩薩来迎図	鎌倉時代(13世紀)	絹本着色・軸(対幅)	福井県立美術館	後期
5 ◎ 良全	仏涅槃図	鎌倉時代、嘉暦3年(1328)	絹本着色・軸	本覚寺 (福井県立美術館寄託)	前期
6 ■	阿弥陀八大菩薩像	朝鮮・高麗~李氏朝鮮時代 (14~15世紀)	紫絹金泥・軸	善妙寺 (福井県立美術館寄託)	後期
7	五彩羅漢文盤	中国・明時代(17世紀)	磁器	福井県立美術館	
8	能面 父尉	鎌倉時代(14世紀)	木造 彩色	福井県立美術館	
9 友閑満庸	能面 深井	江戸時代(17世紀)	木造 彩色	福井県立美術館	
10	白衣観音立像	中国・北宋時代(10~11世紀)	銅像 鍍金	福井県立美術館 (岡島コレクション)	
11	如来立像	朝鮮・統一新羅時代(7~8世紀)	銅像 鍍金	福井県立美術館 (岡島コレクション)	
12	観音菩薩立像	中国・北齊時代、天統元年(565)	銅像 鍍金	福井県立美術館 (岡島コレクション)	
13	菩薩三尊像	中国・唐時代(7~8世紀)	銅像 鍍金	福井県立美術館 (岡島コレクション)	
14	菩薩三尊像	中国・唐時代(7~8世紀)	銅像 鍍金	福井県立美術館 (岡島コレクション)	
15 □	地藏菩薩立像	平安時代(12世紀)	木造 彩色	円照寺(福井県立若狭歴史博物館寄託)	
16 □	阿弥陀如来坐像	平安時代(10~11世紀)	木造 彩色	仏谷区(福井県立若狭歴史博物館寄託)	
17 □	兜跋毘沙門天立像	平安時代(10~11世紀)	木造 彩色	加尾区(福井県立若狭歴史博物館寄託)	
18	迦楼羅立像	中国・南宋時代(13世紀)	木造 彩色	福井県立若狭歴史博物館	
<b>第二章 中近世の絵画</b>					
19 ◎	世界及日本図	桃山時代(16~17世紀)	紙本金地着色・屏風 (八曲一双)	福井県立若狭歴史博物館	前期: 世界図 後期: 日本図
20 芸愛	鷹図	室町時代(16世紀)	絹本墨画・軸	福井県立美術館	前期
21 ■ 曾我紹仙	寒山拾得図	室町時代(16世紀)	紙本墨画・軸	福井県立美術館	後期
22 曾我直庵	鷹図	室町時代(16世紀)	紙本墨画・軸	福井県立美術館	後期
23 英一蝶	四睡図	江戸時代(18世紀)	絹本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	前期
24 ○ 岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図 三条院女蔵人左近	江戸時代(17世紀)	紙本着色・額	福井県立美術館	前期
25 ○ 岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図 紀友則	江戸時代(17世紀)	紙本着色・額	福井県立美術館	後期
26 ○ 岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図 在原業平	江戸時代(17世紀)	紙本着色・額	福井県立美術館	前期
27 ○ 岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図 小野小町	江戸時代(17世紀)	紙本着色・額	福井県立美術館	後期

No.	指定作者	作品名	制作年代	材質技法・形状	所蔵	展示期間
28	○ 岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図 中納言敦忠	江戸時代(17世紀)	紙本着色・額	福井県立美術館	前期
29	○ 岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図 猿丸太夫	江戸時代(17世紀)	紙本着色・額	福井県立美術館	後期
30	○ 岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図 僧正遍照	江戸時代(17世紀)	紙本着色・額	福井県立美術館	前期
31	○ 岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図 中務	江戸時代(17世紀)	紙本着色・額	福井県立美術館	後期
32	■ 曾我直庵	松柏に鷹図	桃山時代(16世紀)	紙本金地墨画・屏風 (八曲一双)	福井県立美術館	前期
33	○ 岩佐又兵衛勝以	和漢風俗図	江戸時代(17世紀)	紙本墨画淡彩・屏風 (六曲一双)	福井県立美術館	後期
34	■ 岩佐源兵衛勝重	群鶴図	江戸時代、寛文11年(1671)	紙本金地着色・屏風 (六曲一双)	福井県立美術館	後期
35	狩野常信	花鳥図	江戸時代(17世紀)	紙本金地着色・屏風 (六曲一双)	福井県立美術館	前期
36	岩佐又兵衛勝以	三十六歌仙図	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・卷子	福井県立美術館	前期・後期で 巻替え
37	■ 岩佐又兵衛勝以	和漢故事説話図 近藤師経と寺僧の乱闘	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・軸	福井県立美術館	前期
38	■ 岩佐又兵衛勝以	和漢故事説話図 晋武帝象車遊宴	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・軸	福井県立美術館	後期
39	■ 岩佐又兵衛勝以	和漢故事説話図 安宅	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・軸	福井県立美術館	前期
40	■ 岩佐又兵衛勝以	和漢故事説話図 怪異出現	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・軸	福井県立美術館	後期
41	■ 岩佐又兵衛勝以	和漢故事説話図 祇王	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・軸	福井県立美術館	前期
42	■ 岩佐又兵衛勝以	和漢故事説話図 琴棋書画図	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・軸	福井県立美術館	後期
43	■ 岩佐又兵衛勝以	和漢故事説話図 布袋と寿老の酒宴	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・軸	福井県立美術館	後期
44	○ 岩佐又兵衛勝以	龐居士図	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本着色・軸	福井県立美術館	前期
45	岩佐又兵衛勝以	維摩図	江戸時代初期(17世紀前半)	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	後期
46	岩佐又兵衛勝以	唐人抓耳図	江戸時代(17世紀)	紙本着色・軸	福井県立美術館	前期
47	岩佐又兵衛勝以	歌仙図 躬恒	江戸時代、寛永17年(1640)頃	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	後期
48	岩佐又兵衛勝以	歌仙図 伊勢	江戸時代、寛永17年(1640)頃	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	後期
49	岩佐又兵衛勝以	歌仙図 興風	江戸時代、寛永17年(1640)頃	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	後期
50	伝 岩佐又兵衛勝以	職人尽傘張・虚無僧図	江戸時代(17世紀)	紙本着色・軸	福井県立美術館	前期
51	岩佐派(推定)	官女	江戸時代(17世紀)	紙本着色・軸	福井県立美術館	前期
52	岩佐陽雲以重	霊昭女図	江戸時代(17世紀)	紙本着色・軸	福井県立美術館	前期
53	作者不詳(住吉派)	源氏物語画帖	江戸時代(17世紀)	紙本淡彩・画帖	福井県立美術館	前期:「紅葉賀」 後期:「藤裏葉」
<b>第三章 近代の絵画</b>						
54	狩野芳崖	柳下放牛図	明治17年(1884)	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	前期
55	狩野芳崖	伏龍羅漢図	明治18年(1885)	紙本着色・軸	福井県立美術館	後期

No.	指定作者	作品名	制作年代	材質技法・形状	所蔵	展示期間
56	橋本雅邦	天保九如图	明治30年(1897)頃	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	前期
57	今村紫紅	日蓮・辻説法	明治36年(1903)	絹本着色・軸	福井県立美術館	前期
58	安田靫彦	方丈閑日	昭和12年(1937)	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	後期
59	安田靫彦	天之八衢	昭和14年(1939)	絹本着色・軸	福井県立美術館	前期
60	横山大観	群鴉	明治42年(1909)頃	絹本着色・軸	福井県立美術館	後期
61	横山大観	田家の雪	昭和12年(1937)	絹本着色・軸	福井県立美術館	前期
62	菱田春草	海辺朝陽	明治39年(1906)	絹本着色・額	福井県立美術館	前期
63	菱田春草	温麗・躑躅双鳩	明治34年(1901)	絹本着色・軸	福井県立美術館	後期
64	小林古徑	編笠の武士	明治33年(1900)頃	絹本着色・軸	福井県立美術館	前期
65	小林古徑	竹生鳥(妙音)	明治33~40年(1900~1907)頃	絹本着色・軸	福井県立美術館	後期
66	岡倉秋水	慈母観音図	大正7年(1918)	絹本着色・軸	福井県立美術館	前期
67	木村武山	阿弥陀来迎図	大正時代	絹本着色・軸	福井県立美術館	前期
68	下村観山	陶淵明	大正2~6年(1913~1917)	絹本着色・軸	福井県立美術館	後期
69	岡倉秋水	矢面	明治40年(1907)	絹本着色・軸	福井県立美術館	後期
70	下村観山	寿星	大正4年(1915)頃	絹本着色・屏風 (六曲一双)	福井県立美術館	前期
71	木村武山	花鳥図(日盛り)	大正6年(1917)	絹本金地着色・屏風 (六曲一双)	福井県立美術館	後期
72	速水御舟	閑亭	大正3年(1914)	紙本着色・軸	福井県立美術館	後期
73	川合玉堂	湖村春晴	昭和3年(1928)頃	絹本墨画・軸	福井県立美術館	後期
74	前田青邨	鯉	昭和25~27年(1950~1952)頃	紙本墨画・額	福井県立美術館	後期
75	岡不崩	菊花図	不詳	絹本着色・軸(双幅)	福井県立美術館	前期
76	岡不崩	山水図	大正5年(1916)	絹本墨画・軸(双幅)	福井県立美術館	後期
77	荒井寛方	龍虎図	昭和時代	紙本墨画金銀彩・軸 (双幅)	福井県立美術館	後期
78	小杉放菴	秋溪	昭和時代	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	後期
79	小杉放菴	寒山拾得(石のうた七首)	昭和30年(1955)	紙本墨画淡彩・軸	福井県立美術館	前期
<b>第四章 現代の美術</b>						
80	横山操	川	昭和31年(1956)	木綿に着色・額	福井県立美術館	
81	加山又造	人と駱駝	昭和32年(1957)	紙本着色・額	福井県立美術館	
82	三上誠	F市曼荼羅	昭和25年(1950)	紙本着色・額	福井県立美術館	
83	星野真吾	喪中の作品・赤い別離	昭和40年(1965)	紙本着色・額	福井県立美術館	
84	下村良之介	青鷺の森 翼	昭和55年(1980)	紙に紙粘土・着色・額	福井県立美術館	
85	米谷清和	刻々	昭和52年(1977)	紙本着色・額	福井県立美術館	
86	小松均	白富士図	昭和57年(1982)	紙本墨画淡彩・額	福井県立美術館	
87	堅山南風	O氏像	昭和29年(1954)	紙本着色・額	福井県立美術館	
88	奥村土牛	晴日	昭和14年(1939)	絹本着色・額	福井県立美術館	
89	瑛九	あそび	昭和32年(1957)	キャンバスに油彩・額	福井県立美術館	
90	北川民次	音楽家	昭和33年(1958)	キャンバスに油彩・額	福井県立美術館	

No.	指定作者	作品名	制作年代	材質技法・形状	所蔵	展示期間
91	北川民次	花	不詳	キャンバスに油彩・額	福井県立美術館	
92	オノサト・トシノブ	59-B	昭和34年(1959)	リトグラフ・額	福井県立美術館	前期
93	オノサト・トシノブ	作品(仮題)	昭和57年(1982)	キャンバスに油彩・額	福井県立美術館	
94	靉嘔	レインボー北斎	昭和45年(1970)	シルクスクリーン・額	福井県立美術館	前期
95	靉嘔	海原野III	昭和53年(1978)	シルクスクリーン・額	福井県立美術館	後期
96	池田満寿夫	空の壁	昭和43年(1968)	リトグラフ・額	福井県立美術館	前期
97	池田満寿夫	靴の裏側	昭和43年(1968)	リトグラフ・額	福井県立美術館	後期
98	難波田龍起	形象 青	平成3年(1991)	キャンバスに油彩・額	福井県立美術館	
99	元永定正	作品(仮題)	平成4年(1992)	キャンバスにアクリル・額	福井県立美術館	
100	元永定正	いろだまいろだま くろからしろから	昭和61年(1986)	シルクスクリーン・額	福井県立美術館	後期

## 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代

\*出品番号6、21の作品は京都国立近代美術館会場でのみ出品  
 \*寸法表記については、幅×奥行×高さ(cm)とし、平面作品等については縦×横(cm)とした  
 \*群番号は団体名の省略として青:青年作陶家集団、走:走泥社、四:四耕会、他:それら以外の作家とした

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
<b>第1章 前衛陶芸の始まり 走泥社結成とその周辺(1954年まで)</b>						
1	青-1	中島清	草花文磁器飾壺	1946	20.0×20.0×35.0	京都国立近代美術館
2	青-2	叶哲夫	向日葵文三耳壺	1940年代中-後期	28.0×28.0×32.0	個人蔵
3	青-3	八木一夫	搔落向日葵図壺	1947	21.2×21.2×31.2	京都国立近代美術館
4	青-4	八木一夫	春の海	1947	19.0×20.0×22.0	京都国立近代美術館
5	青-5	山田光	柿釉搔取壺	1947	28.0×28.0×26.0	岐阜県美術館
7	走-1	叶哲夫	釉描三方器	1948	28.0×28.0×29.0	京都国立近代美術館
8	走-2	八木一夫	白化粧鉄絵壺	1948頃	23.5×23.5×33.0	京都国立近代美術館
9	走-3	八木一夫	白化粧鉄象嵌花生	1948頃	12.0×10.5×27.0	京都国立近代美術館
10	走-4	八木一夫	白化粧鉄象嵌花生	1948頃	10.5×9.5×27.0	京都国立近代美術館
11	走-5	八木一夫	白化粧鉄絵壺	1949	20.5×20.5×42.5	華道家元池坊総務所
12	走-6	八木一夫	白釉レビュー図蛤形水盤	1949	52.7×41.5×11.0	華道家元池坊総務所
13	走-7	八木一夫	二口壺	1950	20.0×12.5×19.0	京都国立近代美術館
14	走-8	八木一夫	ザムザ氏の散歩	1954	27.0×14.0×27.5	京都国立近代美術館
15	走-9	八木一夫	月	1954	22.5×19.5×17.0	京都国立近代美術館
16	走-10	山田光	白化粧線彫花器	1951	17.0×17.0×25.0	岐阜県現代陶芸美術館
17	走-11	山田光	二つの口の壺	1952	26.0×26.0×22.0	岐阜県現代陶芸美術館
18	走-12	山田光	作品	1953	18.0×17.0×29.0	岐阜県美術館
19	走-13	山田光	切った壺	1953	10.0×10.0×42.0	岐阜県現代陶芸美術館
20	走-14	山田光	切った壺	1953	10.0×10.0×33.0	岐阜県現代陶芸美術館
22	走-16	鈴木治	白釉黒絵ビエロ文広口瓶	1949	38.6×38.6×35.3	華道家元池坊総務所
23	走-17	鈴木治	ロンド	1950	19.5×19.5×43.5	華道家元池坊総務所

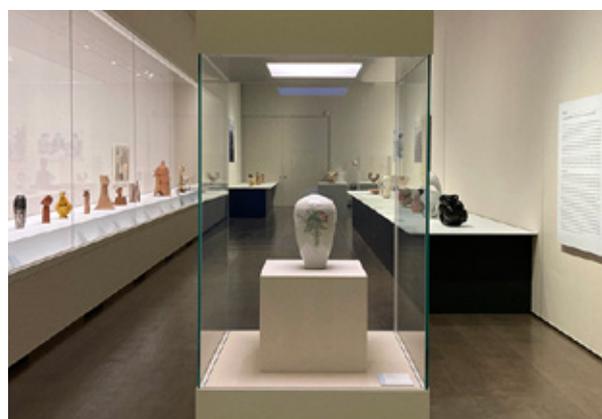
出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
24	走-18	鈴木治	双頭壺	1951	31.4×10.9×28.0	個人蔵
25	走-19	鈴木治	黒絵長壺	1951-52	20.0×20.0×44.0	京都国立近代美術館
26	走-20	鈴木治	作品	1954	28.3×31.5×34.3	個人蔵
27	走-21	門井嘉衛	作品	1950	20.5×13.5×27.5	個人蔵
28	走-22	門井嘉衛	作品	1950	20.5×12.5×31.5	個人蔵
29	走-23	門井嘉衛	作品	1951	21.3×16.0×26.5	個人蔵
30	走-24	中島清	鉄釉ふで投つぼ	1951	33.0×33.0×36.0	京都府(京都文化博物館管理)
31	走-25	中島清	黒釉櫛目壺	1952	25.0×25.0×38.0	京都国立近代美術館
32	四-1	宇野三吾	土偶形花器	1950頃	24.0×7.0×32.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
33	四-2	宇野三吾	ハニワ形花器	1950頃	28.0×12.0×50.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
34	四-3	宇野三吾	黄釉花器	1950頃	24.0×20.0×34.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
35	四-4	岡本素六	花器	1950前後	30.0×15.0×32.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
36	四-5	清水卯一	鉄絵うず文花入	1948	12.0×12.0×33.5	滋賀県立美術館
37	四-6	鈴木康之	芽	1947	12.5×10.5×31.0	京都国立近代美術館
38	四-7	中西美和	抽象形花器	1950頃	32.0×20.0×37.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
39	四-8	林康夫	雲	1948	33.0×27.5×33.7	京都国立近代美術館
40	四-9	林康夫	無題	1950	52.5×30.0×60.5	京都国立近代美術館
41	四-10	林康夫	作品51-2	1951	50.0×27.5×32.0	和歌山県立近代美術館
42	四-11	藤田作	トルソ形花器	1949	26.5×15.5×48.0	滋賀県立陶芸の森陶芸館
43	四-12	三浦省吾	作品	1951	30.5×21.0×29.5	和歌山県立近代美術館
44	他-1	パブロ・ピカソ	三人の人物	1948.1.14	30.8×21.6×33.0	彫刻の森美術館 (公益財団法人彫刻の森芸術文化財団)
45	他-2	パブロ・ピカソ	ひげのある顔	1948.1.24	38.0×32.0	彫刻の森美術館 (公益財団法人彫刻の森芸術文化財団)
46	他-3	パブロ・ピカソ	走る人	1948-49	21.2×15.0×25.5	瀬戸市美術館
47	他-4	イサム・ノグチ	旅	1950	17.0×17.0×70.2	瀬戸市美術館
48	他-5	イサム・ノグチ	カブト	1952	33.0×31.5×71.5	一般財団法人草月会
49	他-6	イサム・ノグチ	ひまわり	1952	34.0×31.5×65.0	一般財団法人草月会
50	他-7		展覧会ポスター 「イサム・ノグチ展」	1952	60.5×86.0	個人蔵(八木一夫旧蔵)
<b>第2章 オブジェ陶の誕生とその展開(1955-63年)</b>						
51	走-26	八木一夫	歩行	1957	24.0×11.0×50.0	京都国立近代美術館
52	走-27	八木一夫	黒陶作品	1957	16.8×9.0×49.5	京都国立近代美術館
53	走-28	八木一夫	黒陶	1958	14.5×11.5×22.8	京都市美術館
54	走-29	八木一夫	休息の眼	1959	22.0×13.0×17.4	京都市美術館
55	走-30	八木一夫	碑・妃	1961	24.0×8.0×69.0	京都国立近代美術館
56	走-31	八木一夫	踊り	1962	22.5×17.5×26.0	京都国立近代美術館
57	走-32	八木一夫	壁体	1963	37.0×7.5×52.0	京都国立近代美術館
58	走-33	山田光	作品	1955	23.0×19.0×29.6	個人蔵

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
59	走-34	山田光	作品	1956	24.0×25.0×24.0	岐阜県現代陶芸美術館
60	走-35	山田光	作品	1957	22.5×28.0×25.0	岐阜県美術館
61	走-36	山田光	作品	1958	30.0×37.0×32.0	高松市美術館
62	走-37	山田光	二つの塔	1959	右 30.0×8.7×81.5 左 30.5×10.8×77.5	和歌山県立近代美術館
63	走-38	山田光	緑釉 塔	1962	9.0×14.0×63.3	広島県立美術館
64	走-39	山田光	塔	1963	36.0×16.0×39.0	岐阜県美術館
65	走-40	鈴木治	木魂	1959	73.5×23.0×22.0	京都国立近代美術館
66	走-41	鈴木治	汗馬	1959	83.0×12.0×31.0	京都国立近代美術館
67	走-42	鈴木治	風	1959	124.0×35.0	京都国立近代美術館
68	走-43	鈴木治	森の歌	1960	75.0×91.5	京都国立近代美術館
69	走-44	鈴木治	華麗なる野武士	1961	151.0×34.0	京都国立近代美術館
70	走-45	鈴木治	土偶	1963	35.3×25.8×47.0	京都国立近代美術館
71	走-46	鈴木治	数の土面	1963	42.5×13.5×44.5	福島県立美術館
72	走-47	河島浩三	作品	1958頃	32.0×32.0×27.0	個人蔵
73	走-48	森里忠男	ひよつとこ	1955	15.5×5.5×33.0	個人蔵
74	走-49	森里忠男	作品B	1955	14.3×7.6×30.5	個人蔵
75	走-50	森里忠男	作品	1957頃	13.5×13.5×32.0	個人蔵
76	走-51	森里忠男	作品	1958	28.5×14.0×30.5	個人蔵
77	走-52	森里忠男	作品	1950年代末 - 60年代初頭	33.5×24.5×29.0	個人蔵
78	走-53	辻勘之	円の炎	1960頃	19.0×7.7×15.0	個人蔵
79	走-54	加藤達美	作品	1955頃	29.0×24.0×44.5	個人蔵
80	走-55	加藤達美	作品	1955頃	35.5×33.0×19.0	個人蔵
81	走-56	叶敏	作品	1955頃	41.0×38.0×30.0	個人蔵
82	走-57	熊倉順吉	さざめごと	1955	29.3×22.9×35.0	国立工芸館
83	走-58	熊倉順吉	凝固する炎	1956	25.0×25.0×81.5	国立工芸館
84	走-59	寺尾恍示	作品63-A	1963	61.2×11.6×71.8	京都市美術館
85	走-60	寺尾恍示	プラスの世界	1963	53.0×14.0×128.0	京都国立近代美術館
86	走-61	藤本能道	日蝕	1957	38.5×26.0×52.0	京都市立芸術大学芸術資料館
87	走-62	藤本能道	無題	1958	24.0×19.8×48.5	京都国立近代美術館
88	走-63	藤本能道	緑釉花器	1959頃	18.3×18.0×29.0	京都国立近代美術館
89	走-64	藤本能道	童話	1960	40.3×16.5×49.1	京都国立近代美術館
90	走-65	川上力三	かたりべ	1963	39.0×20.0×67.0	ギャラリー・ヒルゲート
91	走-66	川上力三	面相	1963	25.0×20.0×60.0	広島県立美術館
92	他-8	辻晉堂	禁煙(禁煙の名人)	1956	22.0×16.0×31.5	愛知県陶磁美術館
93	他-9	辻晉堂	時計	1956	34.0×10.0×40.0	京都国立近代美術館
94	他-10	辻晉堂	東山にて	1962	118.0×15.5×68.0	個人蔵
95	他-11	森野泰明	WORK 60-13	1960	70.0×65.0×45.0	常滑市

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
96	他-12	森野泰明	WORK 61-1	1961	44.0×14.3×103.0	和歌山県立近代美術館
97	他-13	柳原睦夫	作品	1963	39.0×19.8×54.1	京都市美術館
<b>第3章 「現代国際陶芸展」以降の走泥社(1964-73年)</b>						
98	走-67	八木一夫	小町のギブス	1964	22.7×34.0×37.0	京都国立近代美術館
99	走-68	八木一夫	壁体	1964	68.5×6.5×52.0	京都国立近代美術館
100	走-69	八木一夫	曲	1964	28.0×13.5×33.5	岐阜県現代陶芸美術館
101	走-70	八木一夫	壁体	1964頃	63.0×6.0×53.0	愛知県陶磁美術館
102	走-71	八木一夫	黒陶 環	1967	30.5×10.0×30.5	国立工芸館
103	走-72	八木一夫	白い箱 OPEN OPEN	1971	23.0×23.0×29.0	京都国立近代美術館
104	走-73	八木一夫	頁1	1971	23.0×16.0×14.5	岐阜県現代陶芸美術館
105	走-74	八木一夫	ノ一	1972	22.3×15.3×3.9	京都国立近代美術館
106	走-75	山田光	塔	1964	47.0×6.0×39.0	京都国立近代美術館
107	走-76	山田光	塔	1964	53.0×11.0×29.0	京都府(京都文化博物館管理)
108	走-77	山田光	窓	1966	47.0×4.5×39.8	京都国立近代美術館
109	走-78	山田光	陶壁	1969	51.0×6.5×41.5	和歌山県立近代美術館
110	走-79	山田光	球体のある花生	1969頃	14.5×14.5×33.0	愛知県陶磁美術館
111	走-80	山田光	白の間隙	1971	48.0×7.5×59.0	高松市美術館
112	走-81	山田光	白の間隙	1971	37.0×12.0×45.0	福島県立美術館
113	走-82	山田光	1の周辺	1976	34.5×6.0×40.0	岐阜県現代陶芸美術館
114	走-83	鈴木治	フタツの箱	1964	41.5×25.5×40.5	国立工芸館
115	走-84	鈴木治	泥像	1965	35.0×23.0×40.0	京都国立近代美術館
116	走-85	鈴木治	座る泥像	1970	左 29.3×29.3×58.0 右 28.8×29.5×57.8	京都国立近代美術館
117	走-86	鈴木治	馬	1971	45.0×17.0×81.0	京都国立近代美術館
118	走-87	鈴木治	馬	1972	53.0×17.3×78.5	京都国立近代美術館
119	走-88	鈴木治	縞の立像	1971	24.7×23.0×39.5	樂翠亭美術館
120	走-89	鈴木治	天馬 <sup>おうばく</sup> 横轉	1973	20.5×12.8×16.5	岐阜県現代陶芸美術館
121	走-90	鈴木治	上を向く馬	1975	17.2×8.0×38.7	滋賀県立陶芸の森陶芸館
122	走-91	河島浩三	筆紋と壺	1972	17.5×17.5×29.0	個人蔵
123	走-92	辻勘之	KAO	1965	25.0×17.8×35.5	個人蔵
124	走-93	辻勘之	暴力団	1965	22.0×19.7×35.5	個人蔵
125	走-94	辻勘之	虫	1974	24.0×16.5×15.5 29.0×24.0×22.5 28.0×21.0×20.5 29.0×21.5×20.0ほか	個人蔵
126	走-95	熊倉順吉	暦日	1965	40.5×41.0×66.5	京都府(京都文化博物館管理)
127	走-96	熊倉順吉	困却	1965	31.5×20.5×29.0	岐阜県現代陶芸美術館
128	走-97	熊倉順吉	風人'67	1967	50.0×48.0×37.0	京都国立近代美術館
129	走-98	熊倉順吉	力つきて	1969	30.5×46.0×53.0	国立工芸館
130	走-99	熊倉順吉	座	1972	58.0×34.0×60.5	国立工芸館

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
131	走-100	鳥羽克昌	作品	1973頃	21.5×23.0×20.5 21.5×24.2×20.5 21.5×24.5×20.5	個人蔵
132	走-101	田辺彩子	作品	1973頃	18.5×18.0×24.5	個人蔵
133	走-102	田辺彩子	作品	1974頃	17.3×17.3×18.5	個人蔵
134	走-103	田辺彩子	作品	1979	16.0×7.3×40.0	個人蔵
135	走-104	林康夫	作品67-11	1967	40.0×26.0×41.0	高松市美術館
136	走-105	林康夫	作品69-3	1969	26.3×20.5×33.5	国立工芸館
137	走-106	林康夫	ホットケーキ	1971	33.0×32.0×18.0	和歌山県立近代美術館
138	走-107	川上力三	面相	1964	24.6×15.0×60.7	和歌山県立近代美術館
139	走-108	川上力三	荒法師	1964	31.0×28.0×63.0	個人蔵
140	走-109	川上力三	偽証	1966	24.0×10.4×40.7	和歌山県立近代美術館
141	走-110	吉竹弘	作品	1979	28.8×72.0×68.0	個人蔵
142	走-111	吉竹弘	作品	1979	27.0×65.0×63.0	個人蔵
143	走-112	近藤清次	作品	1972	53.0×41.0×26.0	個人蔵
144	走-113	林秀行	女の一生	1965	34.0×22.0×14.0 34.0×22.0×14.0 30.0×20.0×14.0	広島県立美術館
145	走-114	林秀行	箱の中の輪違い	1968	37.5×37.5×37.5	和歌山県立近代美術館
146	走-115	林秀行	三つの形	1970	20.5×20.5×44.5	和歌山県立近代美術館
147	走-116	林秀行	作品	1973	40.0×22.0×16.0 29.0×13.0×21.0 29.0×13.0×21.0 29.0×13.0×21.0	京都国立近代美術館
148	走-117	佐藤敏	バットマン	1971	29.0×34.0×42.0	広島県立美術館
149	走-118	佐藤敏	カブトマン	1971	31.0×28.0×43.0	高松市美術館
150	走-119	佐藤敏	ピットマン	1971	33.0×30.0×42.0	高松市美術館
151	走-120	高野基夫	ノンセンシカル・ムード	1973	インスタレーション (30.7×30.5×27.0ほか)	北海道立近代美術館
152	走-121	笹山忠保	アンタイトル	1968	126.0×36.5×36.0	個人蔵
153	走-122	笹山忠保	アンタイトル2	1968	133.0×37.0×36.0	個人蔵
154	走-123	笹山忠保	アンタイトル3	1968	132.0×36.5×37.0	個人蔵
155	走-124	人見政次	作品	1968	27.3×18.0×49.0	個人蔵
156	走-125	人見政次	土の精	1972	43.5×21.5×47.0	個人蔵
157	走-126	人見政次	作品	1973	32.0×18.5×55.0 34.0×18.0×56.0	個人蔵
158	走-127	三輪龍作	愛の為に	1967	24.4×8.7×20.2	国立工芸館
159	走-128	三輪龍作	愛の為に	1968	27.0×8.0×17.5	国立工芸館
160	走-129	三輪龍作	毒眼	1968	22.0×22.0×20.0	菊池寛実記念 智美術館
161	走-130	三輪龍作	LOVE	1969	90.0×84.0×103.0	高松市美術館
162	走-131	三輪龍作	LOVE	1969	90.0×84.0×103.0	高松市美術館
163	走-132	宮永理吉	パイプ	1970	30.0×14.0×34.5	国立工芸館

出品番号	群番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵
164	走-133	宮永理吉	格子A	1970	36.0×25.0×35.0	国立工芸館
165	走-134	宮永理吉	パイプ	1972	18.0×14.5×26.0	広島県立美術館
166	走-135	宮永理吉	三角の中の四角	1973	20.0×38.0 18.0×30.0	国立工芸館
167	走-136	宮永理吉	海	1973	28.0×29.0×29.5	京都国立近代美術館
168	走-137	里中英人	シリーズ: 公害アレレギー1-VI	1971	32.0×33.5×47.5ほか	京都国立近代美術館
169	走-138	益田芳徳	沈黙	1974	21.1×35.5×21.2 20.6×35.5×20.6 21.4×35.2×21.9 24.3×33.5×22.1	京都国立近代美術館
170	走-139	緑川宏樹	くすぶる	1975	右 42.0×35.0×19.0 左 25.0×25.0×38.0	いわき市立美術館
171	走-140	金ヶ江和隆	波打つ形	1976	40.0×35.0×50.0	個人蔵
172	走-141	金ヶ江和隆	ふたつの間には	1976	85.0×25.0×35.0	個人蔵
173	走-142	小西晴美	1970年走泥社展会場風景	1970	スライド上映	個人蔵
174	走-143	小西晴美	1971年走泥社展会場風景	1971		個人蔵
175	走-144	小西晴美	1972年走泥社展会場風景	1972		個人蔵
176	他-14	ピーター・ヴォーコス	陶彫	1963	32.0×18.0×20.0	京都国立近代美術館
177	他-15	ハワード・コトラ	壺	1963	18.8×18.8×31.6	京都国立近代美術館
178	他-16	ケネス・スターバード	花生	1963	20.3×20.3×36.0	京都国立近代美術館
179	他-17	ルース・ダックワース	大平鉢	1963	44.2×44.2×15.5	京都国立近代美術館
180	他-18	ハンス・コパー	花生	1963	12.9×12.9×18.8	京都国立近代美術館
181	他-19	ルーチョ・フォンタナ	陶板	1963	38.0×1.4×19.2	京都国立近代美術館
182	他-20	ニーノ・カルーン	共蓋壺	1963	23.5×20.5×36.9	京都国立近代美術館
183	他-21	原弘	「現代国際陶芸展」ポスター	1964	各B2(72.8×51.5)	京都国立近代美術館



## クロスアート4 ビロッキングー新しい居場所と手にしたものー

作品名	Title	制作年	素材、他	所蔵
<b>松山智一 MATSUYAMA Tomokazu</b>				
甘い陽光が再びさえずる	Sing It Again Sweet Sunshine	2019	アクリル、キャンバス	OKETA COLLECTION
新天地へのボーナストラック	New Life Bonus Track	2019	アクリル、キャンバス	個人蔵
寛容に思いも寄らない	Unthinkable Forgiven	2018	アクリル、キャンバス	岐阜県美術館
ノスタルジー・リマインダー	Nostalgic Remind Signal	2023	アクリル、キャンバス	個人蔵
両腕に掲げられ、両手を上げる	Hello Open Arms	2023	アクリル、キャンバス	弘前れんが倉庫美術館
イラつかれる切ない月曜日	Blue Monday Frost	2023	アクリル、キャンバス	岡村茂樹 蔵
<b>後藤映則 GOTO Akinori</b>				
Energy #01	Energy #01	2017	ナイロン、プロジェクション	作家蔵
Crossing #01	Crossing #01	2016	ナイロン、プロジェクション	作家蔵
Crossing #03	Crossing #03	2019	ナイロン、プロジェクション	作家蔵
Heading #01	Heading #01	2020	ナイロン、プロジェクション	作家蔵
Rediscovery of Anima	Rediscovery of Anima	2022	木、石、麻	作家蔵
<b>公花 KIMIKA</b>				
鼓動の舞	Bailar los Latidos	2024	手縫いテキスタイルコラージュ 布:西サハラ民族衣装「メルフファ」	作家蔵
糸ヲトル	Tomar el hilo	2018	ビデオ 映像7分	作家蔵
色鮮やかなる壁の華麗なる反攻	El Muro de las Resistentes	2014	手縫いテキスタイルコラージュ 布:西サハラ民族衣装 「メルフファ」「ターバン」	作家蔵
色鮮やかなる壁の華麗なる反攻 折り本	El Muro de las Resistentes Orihon (Concertina Book)	2019	紙、布:西サハラ民族衣装「メルフファ」	作家蔵
<b>山内祥太 YAMAUCHI Shota</b>				
カオ1_Waterfall	Face1_Waterfall	2021	映像インスタレーション	作家蔵
カオ2	Face2	2021	アルミニウムボードにUVインクジェット プリント(アクリルマウント)	作家蔵
Apparition	Apparition	2023	映像インスタレーション	作家蔵
解体された蒸留器	Disassembled Distiller	2024	ガラス製フラスコ、ピーカー、LED、 シール	作家蔵
ラテックスオブジェ	Latex Objects	2024	ラテックス	作家蔵
<b>横山奈美 YOKOYAMA Nami</b>				
forever	forever	2021	紙に木炭	岐阜県美術館
Remembering Someone in the Distance	Remembering Someone in the Distance	2024	ブロンズ	作家蔵
Shape of Your Words [in Gifu, 2023. 10. 14 - 10. 25]	Shape of Your Words [in Gifu, 2023. 10. 14 - 10. 25]	2023-24	油彩、キャンバス	作家蔵

## 1-3 共催展など

### 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023

2023/4/22 [土] - 6/18 [日]

「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE (AAIC)」は、想像力溢れる新たな才能の発掘と育成を目的とした企画公募展として3年に1回開催することとしており、2017年に初めて開催し、第3回を2023年に開催した。

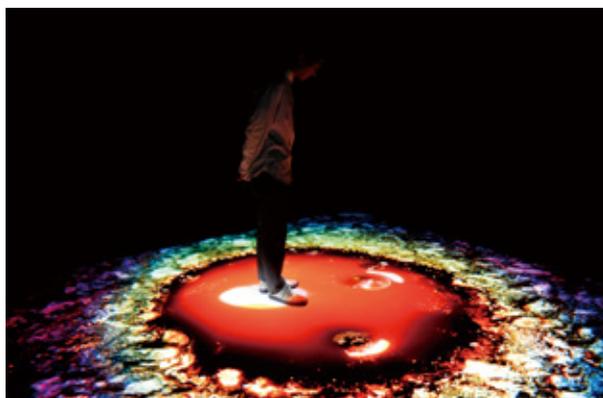
美術ジャンルに限らず、各界を代表する審査員を迎えることが特徴で、4.8m(幅)×4.8m(奥行)×3.6m(高さ)の空間に、今回のテーマは『リアル』のゆくえとして開催した。

#### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室3, 4、多目的ホール
- ・入場料: 無料
- ・主催: 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会、岐阜県
- ・テーマ: 「リアル」のゆくえ
- ・出品数: 14点(応募件数574件)
- ・観覧者: 61,763人

#### 審査員

入江 経一(建築家/デザインディレクター)  
岩崎 秀雄(アーティスト・研究者/早稲田大学理工学術院教授、metaPhorest代表)  
北村 明子(ダンサー・振付家/信州大学人文学部教授)  
四方 幸子(キュレーター・批評家/美術評論家連盟会長)  
寺内 曜子(美術家)  
森村 泰昌(美術家)  
山極 壽一(総合地球環境学研究所所長)



### 令和5年度岐阜県青少年美術展

2023/7/1 [土] - 7/9 [日]

青少年への美術の普及のため、広く県内から作品を公募し、一般に公開する展覧会。青年部と少年部があり、青年部は絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の5部門、少年部は絵画・デザイン、書写の2部門を公募した。青年部は部門ごと、少年部は、各部門の学年ごとに、最優秀賞、優秀賞、入選を選定し、最優秀賞受賞者の表彰式を行った。

また、部門や学年の枠にとらわれず、日比野克彦美術館長の感性を刺激した作品を「ナンヤローネ賞」として選定した。

スマートフォンやタブレットなどから展示会場を体験できる3Dバーチャル美術展を令和3・4年度に引き続き公開した。

#### 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室3,4
  - ・入場料: 無料
  - ・主催: 岐阜県
  - ・後援: 岐阜県教育委員会  
岐阜県高等学校文化連盟
  - ・応募数: 青年部 1,204点  
少年部 36,496点
  - ・展示数: 青年部 271点  
少年部 793点
- 岐阜県美術館長選定賞「ナンヤローネ賞」: 50点



## IAMAS ARTIST FILE #09 〈方法主義芸術〉— 規則・解釈・(反)身体 2023/10/11 [水] - 12/24 [日]

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] と岐阜県美術館との連携事業「IAMAS ARTIST FILE」は2013年に始まり、本展で第9回目。ゼロ年代初頭の芸術運動「方法主義」は、4名の方法主義者たち（中ザワヒデキ、足立智美、松井茂、三輪眞弘）によるもので、同時代芸術を批判し、厳密な規則による絵画・詩・音楽を発表した。活動終了からおよそ20年が経過した今日、IAMAS教員2名（三輪眞弘・松井茂）がメンバーとして参加した「方法主義」の軌跡を辿り、その意義を再考した。

### 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室2
- ・出品数：41点
- ・入場料：一般340円(280円)、大学生220円(160円)、高校生以下は無料
- ・主催：岐阜県美術館、情報科学芸術大学院大学[IAMAS]
- ・協力：IAMAS タイムベースドメディア・プロジェクト

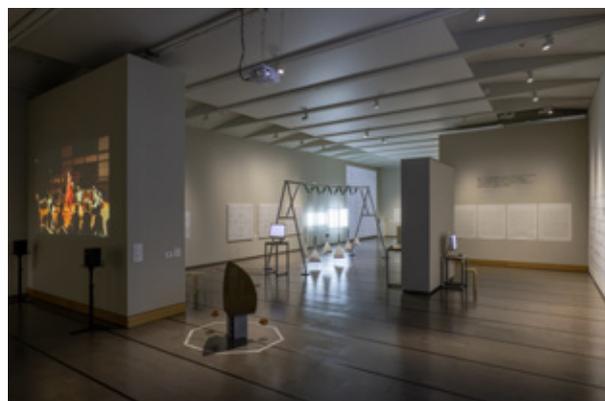
作品リストは52ページ



## IAMAS ARTIST FILE #09 〈方法主義芸術〉— 規則・解釈・(反)身体

No.	作家名	作品名	作品制作年
1	足立智美	方法音楽 第9番「線の消尽」その1, その2 三次元楽譜	2000
2	足立智美	The Theme of "pig with mic," 10 variations and 5 enlargements	2001
3	足立智美	方法音楽 第8番 その1 二次元楽譜	2000
4	足立智美	方法音楽 第8番 その2 二次元楽譜	2000
5	足立智美	方法音楽 第8番 その3 - 改行無し 二次元楽譜	2000
6	足立智美	方法音楽 第8番 その3 - 改行有り 二次元楽譜	2000
7	足立智美	方法音楽 第9番「線の消尽」その1 - 日本語・英語 二次元楽譜	2000
8	足立智美	方法音楽 第9番「線の消尽」その2 - 日本語・英語 二次元楽譜	2000
9	中ザワヒデキ	768個の変曲点のある単一曲線	1997
10	中ザワヒデキ	4760個の変曲点のある単一曲線	1997
11	中ザワヒデキ	1456個の変曲点のある単一曲線	1998
12	中ザワヒデキ	1842個の変曲点のある単一曲線	1998
13	中ザワヒデキ	654個の変曲点のある単一曲線	2001
14	中ザワヒデキ	二九字二九行の文字座標型絵画第一番	1997
15	中ザワヒデキ	二九字二九行の文字座標型絵画第二番	1997
16	中ザワヒデキ	二九字二九行の文字座標型絵画第三番	1999
17	中ザワヒデキ	二三字三九行の文字座標型絵画第七番	2009
18	中ザワヒデキ	二九字二九行の文字座標型絵画第八番	2009
19	中ザワヒデキ	二九字二九行の文字座標型絵画第九番	2009
20	中ザワヒデキ	二九字二九行の動的文字座標型絵画第七番	2009
21	中ザワヒデキ	三五目三五路の盤上布石絵画第一番	1999
22	中ザワヒデキ	三五目三五路の盤上布石絵画第二番	1999
23	中ザワヒデキ	三五目三五路の盤上布石絵画第三番	1999
24	中ザワヒデキ	15個の滑車と6個の重りのあるロープ第一番	2003
25	中ザワヒデキ	「15個の滑車と6個の重りのあるロープ第一番」シミュレーター	2003
26	中ザワヒデキ	同一の二枰第一〜一〇番	2004
27	中ザワヒデキ	同一の二枰第一一〜二〇番	2004
28	松井茂	純粹詩	2001-
29	松井茂	量子詩	2002-
30	松井茂	同時並列回路	2006
31	松井茂	同時並列回路	2006
32	三輪眞弘	逆シミュレーション音楽説明動画	2007
33	三輪眞弘	またりさま人形	2003
34	三輪眞弘	すべての時間, ハープのための 初演	2001
35	三輪眞弘	またりさま 再演	2002
36	三輪眞弘	村松ギヤ(京風バージョン) 初演	2003
37	三輪眞弘	村松ギヤ・エンジンによるボレロ 日本初演	2003
38	三輪眞弘	蟬の法, 箆篋のための 初演	2003

No.	作家名	作品名	作品制作年
39	三輪真弘	369ハルモニアII, 弦楽六重奏のための 再演	2005
40	三輪真弘	369 B氏へのオマージュ, 弦楽のための 再演	2006
41	三輪真弘	59049年カウンター, 2人の詠人, 10人の桁人と音具を奏でる傍観者たちのための 逆シミュレーション音楽年表 2002-2023 逆シミュレーション音楽上演プログラム 三輪真弘関連資料 「方法」関連資料	2014



## 1-4 アーティスト・イン・ミュージアム[AiM]

アーティスト・イン・ミュージアムは、アーティストを招聘して公開制作、作品展示を行う、いわゆるアーティスト・イン・レジデンス事業である。来場者がアーティストの制作現場を間近に見て、時には一緒に制作を体験し、さらに完成した作品を鑑賞することで、アートをより身近に感じてもらうことを目的としている。

### アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.14 設楽陸

公開制作 2023/7/20 [木] - 9/3 [日]

作家本人は岐阜県美術館のアトリエ内にいながら、VR(仮想現実)のスタジオで創作。実際の会場とバーチャル空間で作品制作を展開し、作家と鑑賞者が2つの空間を行き来しながら、現実と仮想の融合を楽しむ実験的発表。会期中には、空間を超えた制作をめぐる日比野館長との対談や、VRお絵描き教室が行われた。

#### 概要

- ・会場:岐阜県美術館 アトリエ
- ・観覧料:無料
- ・観覧者数:2,099人
- ・協力:大垣市情報工房



▲撮影:河合康次



### アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.15 トザキケイコ

公開制作 2023/10/11 [水] - 11/5 [日]

作品展示 2023/11/11 [土] - 12/3 [日]

自然と共に暮らす作家が、生まれ来るものだけでなく朽ちるものも祝福したいという信念のもと、枝や石などの自然の素材を使った作品を制作。ワークショップでは、清見の森から運んだブナの廃材に、参加者が祈りを込めながら枝を組み合わせることで、一つの大きな「祈りの木」を完成させた。

#### 概要

- ・会場:岐阜県美術館 アトリエ
- ・観覧料:無料
- ・観覧者数:1,531人

